

地域別みどりの現状と課題

寝屋川市の地域ごとのみどりの現状と課題を整理し、重点的に取り組むべき課題について検討しました。検討した地域区分は、都市計画マスタープランにおける地域区分をもとに、以下に示す6つの地域で検討しました。



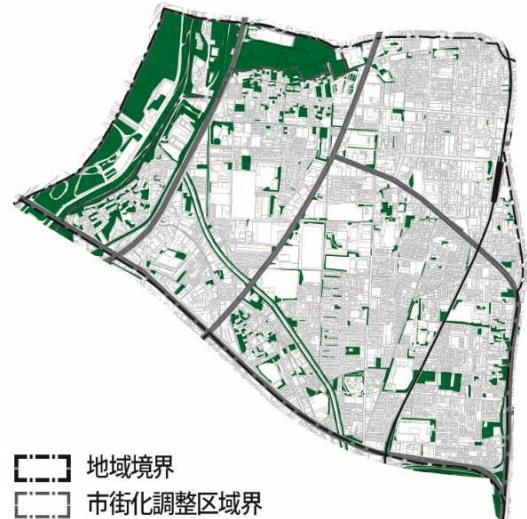
<図 1 地域区分>

1-1. 地域の現状【①北西部地域】

1. 地域の概況							
①地域面積	309.8ha			現状(H29)	推計(H52)		
②市街化区域面積	271.4ha	⑤地域人口	42,338人				
③市街化調整区域面積	38.4ha	⑥年齢別人口	0-9歳	3,444人	1,885人		
④町丁目 	音羽町、香里新町、香里西之町、香里南之町、香里北之町、寿町、松屋町、石津元町、石津中町、石津東町、石津南町、太間町、太間東町、池田北町、田井西町、田井町、日新町、豊里町、木屋元町、木屋町、緑町		10-19歳	3,820人	1,978人		
			20-29歳	4,005人	2,619人		
			30-39歳	5,155人	3,283人		
			40-49歳	7,440人	3,791人		
			50-59歳	5,243人	3,852人		
			60-69歳	6,007人	5,693人		
			70-79歳	4,888人	5,060人		
⑦地域内世帯数	19,869世帯		80歳以上	2,336人	5,122人		
⑧人口密度	136.6人/ha	※小数点以下四捨五入のため地域人口と年齢別人口の合計が異なる場合がある					
⑨人数/世帯	2.1人/世帯						
2. 社会的条件等							
①土地利用概況	<ul style="list-style-type: none"> 香里園駅周辺には、商業・業務地が広がっている。 香里園駅南側には、密集住宅地（密集住宅地区整備事業における香里地区）が広がっている。 国道1号（寝屋川バイパス）と国道170号に挟まれた地域は、住工共存地となっている。 木屋元町、石津元町、田井町などには旧集落地が存在している。 木屋元町の北側には、旧集落地に接して広大な市街化調整区域内農地が存在している。 						
②上位関連計画における位置付け	<p>《都市計画マスタープラン》</p> <ul style="list-style-type: none"> 香里園駅周辺は、「都市の拠点（都市核）」として位置付けられ、便利で暮らしやすいにぎわいのあるまちとしてのブランド確立など、本市の「北核」としての魅力向上が求められている。 淀川河川公園は、「レクリエーション拠点」として位置付けられている。 <p>《立地適正化計画》</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市機能誘導区域（香里園駅周辺地区【中心拠点】）に位置付けられ、商業施設（中規模）、教育文化施設（伝統文化・芸術に係る施設）、宿泊施設が誘導施設として挙げられている。 <p>《景観計画》</p> <ul style="list-style-type: none"> 香里園駅西側は、香里園駅西側駅前広場周辺景観重点地区に位置付けられている。 主要地方道京都守口線以北のエリアは、淀川河川軸景観重点地区に位置付けられている。 						
③法的規制・誘導	<ul style="list-style-type: none"> みどりの風促進区域（府道京都・守口線沿線） 地区計画区域（香里北之町・西之町地区） 						
④事業・プロジェクトの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 香里園駅周辺では、京阪本線連続立体交差事業が進められている。 香里園駅西側では、密集住宅地区整備事業に基づく密集住宅地区の改善が進められている。 淀川河川公園では、淀川河川公園中流左岸地域協議会において承認された「太間・点野草地区公園整備計画」に基づき、茨田堤の碑などを通じて淀川と地域の歴史文化を学べる公園づくり等が進められている。 						
3. みどりの現状							
(1) 施設緑地 ①都市計画公園緑地							
	区分	箇所数	計画決定面積(ha)	開設面積(ha)	開設率(%)	一人当たり面積(m ² /人)	
都市計画公園緑地	住区基幹	街区公園	3	0.55	0.30	54.5	0.08
		近隣公園	3	4.30	2.88	67.0	0.68
		地区公園	0	-	-	-	-
		小計	6	4.85	3.18	65.6	0.76
		国営公園	1	14.82	14.82	100.0	3.50
		広域公園	0	-	-	-	-
		特殊公園	0	-	-	-	-
		都市緑地	0	-	-	-	-
	小計	7	19.67	18.00	91.5	4.26	
	その他の都市公園	1	-	0.12	-	0.03	
	合計	8	-	18.12	-	4.29	
	区分	公園リスト ※はすべての区域が未開設の都市計画公園					
	街区公園	太間公園、香里北さざんか公園、※松屋町公園					
	近隣公園	田井西公園、木屋元町公園、香里西公園					
	地区公園・広域公園・特殊公園・都市緑地	淀川河川公園					
	その他の都市公園	池田北町第2公園					
(1) 施設緑地 ②公共施設緑地							
	区分	リスト					
	その他の公園（ちびっこ広場等）	39箇所（うち市有地31、官公庁6、民有地2）					
	学校等（高等教育機関）	-					
	学校等（上記以外）	〈中学校〉友呂岐中、第三中〈小学校〉田井小、北小、木屋小、石津小 〈その他〉北幼稚園、さざんか保育所					
	公共公益施設	〈官公庁舎等〉西北コミュニティセンター、図書館西北分室、香里シティ・ステーション、ふれあいプラザ香里 〈供給処理施設〉寝屋川排水場、香里浄水場、石津中継ポンプ場、寝屋川中継ポンプ場 〈その他〉生物多様性センター（大阪府）					

環境施設帯及び街路樹	国道1号(寝屋川バイパス)、国道170号、(主)茨木寝屋川線、(主)八尾枚方線		
(2) 地域制緑地			
区分	面積等	区分	面積等
ため池	-	生産緑地地区	4.90
市街化調整区域内農地	7.58	地域森林計画対象民有林	-
建築物緑化促進制度	-	地区計画(地区施設等)	-
史跡	-		

(3) その他のみどり資源	
区分	リスト
旧街道・旧集落	〈旧街道〉京街道 〈旧集落〉木屋元町、石津元町、田井町
宅地化農地	1.13ha
文化財等	茨田堤碑
河川・水路	二十箇水路、寝屋川導水路、幹線水路、 寝屋川第1・第2水路、田井第1水路、 友呂岐水路、郡第1水路
社寺林・保存樹	鞆呂岐神社(クスノキ2)、 太間天満宮(クスノキ1、エノキ1)、 若宮八幡宮(クスノキ3)
その他	北河内サイクルロード
(4) 緑被率	
緑被地面積	52.4ha
地域面積に対する緑被率	16.9%
市域面積に対する緑被率	2.1%



4. 市民意識		
みどりの量・みどりの変化	印象的なみどり	公園の利用状況
○みどりの量	○印象的(お気に入り)なみどり	○よく行く公園 回答者数
多い・やや多い【10.9%】	1位: 淀川や寝屋川など河川の水辺やみどり【50.5%】	①田井西公園 76
少ない・やや少ない【36.1%】	2位: 打上川治水緑地など大規模公園のみどり【49.5%】	②太間公園 18
	3位: まちなかの身近な公園のみどり【19.5%】	③木屋元町公園 9
○みどりの変化	○まもるべきみどり	※地域内の公園を対象とした 全体回答数の上位3公園
増えた・やや増えた【18.4%】	1位: まちなかの身近な公園のみどり【45.7%】	
減った・やや減った【13.3%】	2位: 街路樹(桜並木など)などの道路のみどり【39.6%】	
	3位: 淀川や寝屋川など河川の水辺やみどり【30.4%】	

5. 協働に関する施策および取り組みの実施状況等	
取り組み	主な実施場所・内容等
健康花壇	・田井町(水路敷跡など)[老人会]、音羽町第2ちびっこ広場[その他]、石津中町第1・第2ちびっこ広場[老人会]、緑町第1ちびっこ広場[その他]
公園愛護会	・木屋元町公園、池田北町第2公園、松屋町第2公園、日新町第1公園など計20箇所
水辺に関する取り組み	・茨田樋遺跡水辺公園(地元住民、市民活動団体、摂南大学との連携によるワークショップを通じた計画策定および復元工事の実施、茨田イチョウまつりなどの実施)
サクラ☆プロジェクト	・田井西公園の桜の保全等
アドプトロード・リバー	<ロード>池田北町(ネットトヨタ新大阪(株)寝屋川店)、石津元町(大阪トヨペット(株)寝屋川店)、石津元町170号(石津元町自治会)、寝屋川(大阪トヨペット(株)U-Car事業部)

6. 生物の生息・生育環境の存在状況等		
文献・調査等	場所等	確認されている生物種等(大阪府レッドリスト2014記載)
寝屋川市環境基本計画	・市内の水路	[準絶滅危惧]コウガイモ、[絶滅危惧Ⅰ類]ミズアオイ
大阪府レッドリスト	・淀川ワンド群	[絶滅危惧Ⅰ類]イタセンバラ、アユモドキ

1-2. 地域の現状から見た特徴【①北西部地域】

《地域人口等》

- 地域面積 309.8ha（市街化区域面積 271.4ha、市街化調整区域面積 38.4ha）であり、平成 29 年の地域人口は 42,338 人（上位 3 番目）です。
- 平成 52 年推計人口は 33,248 人で減少率は 21.4%（上位 5 番目）です。

《土地利用状況等》

- 香里園駅周辺における商業業務地や密集住宅地区、または、国道 1 号と国道 170 号に挟まれた地域には住工共存地が形成されており、本地域の中でも特にみどりが少ない状況です。
- 関連計画や事業・プロジェクトの状況としては、香里園駅周辺地域において、都市計画マスタープランなどの位置づけを踏まえ、連立事業により供出される高架下空間等への機能導入や駅前空間の高度化などによる有効活用を進め、商業施設や教育文化施設、宿泊施設の誘導を図るとともに、景観重点地区としての景観形成を推進することとしています。
- 京阪本線連続立体交差事業に伴う都市計画道路枚方八尾線や環境側道の整備、または密集住宅地区を中心とした空地の有効活用等の推進において、新たなみどりを創出する機会を有しています。

《みどりの現状》

- 都市公園の配置状況は、淀川河川公園のほか住区基幹公園が適正に配置されており、都市公園面積は 18.12ha（上位 3 番目）・一人当たり面積 4.28 m²/人（上位 4 番目）、都市計画公園緑地の整備率は 91.5%（上位 1 番目）と高く、その他都市公園やちびっこ広場も多く点在しています。
- 淀川河川公園や市街化調整区域内農地などのまとまったみどりが存するものの、緑被率は約 16.9%（上位 4 番目）です。
- 香里園駅前や密集住宅地区を含む周辺地域では、都市公園等のオープンスペースが希薄ですが、官庁庁舎やコミセン、学校など、地域の活動拠点となりえる公共公益施設が多く存在しています。
- 市街化区域内農地（宅地化農地）などの潜在的なみどりが存在しています。

《市民意識》

- 「淀川や寝屋川などの河川の水辺やみどり」や「大規模公園のみどり」が印象的なみどりとして認識されており、多数の方々が田井西公園を利用されています。
- 「みどりの量」について「少ない・やや少ない」と回答された方は約 36%（上位 2 番目）と多いが、「減った・やや減った」は約 12%（上位 5 番目）となっており、大規模公園や農空間などのまとまりのあるみどりが存在する中で、近年みどりは減少していないが、在来的にある地域全体のみどり自体が少ないと感じられる方が多くおられると考えられます。

《協働に関する施策および取り組みの実施状況等》

- 淀川河川公園などの都市公園や、淀川、寝屋川などの水辺空間における市民協働の取り組み実績を有する資源が多く存在しています。
- 淀川河川公園では、淀川河川公園中流左岸地域協議会において、ねや川水辺クラブや大学、民間企業などの多様な主体が協働した再整備の計画や、今後の活用方法の検討を進めています。

1-3. みどりの課題【①北西部地域】

(1) 個別の課題

みどりの保全に関する課題

- ・淀川河川公園や市内水路における貴重な生物の生息・生育環境となる水辺環境の維持・保全
- ・木屋元町、石津元町の旧集落地などの歴史・文化漂うまちなみの保全
- ・市街化調整区域内農地や鞆呂岐神社の社寺林などと一体的な農空間の保全
- ・市街化区域内農地の計画的な保全

みどりの充実に関する課題

- ・田井西公園や木屋元町公園等の住区基幹公園、その他都市公園、ちびっ子広場等における地域のニーズに応じた公園のマネジメントの推進
- ・公園施設の計画的な維持管理
- ・香里園駅西側の密集住宅地区における住環境の改善に併せたみどりの環境形成や生活環境の改善
- ・西北コミュニティセンターなどの公共公益施設や、香里園駅西側駅前広場における植栽事業等によるみどりづくりの推進
- ・小中学校、高等学校、大学等の学校敷地におけるみどりづくりの推進

みどりの創出に関する課題

- ・松屋町公園などの事業未着手の都市計画公園の見直し
- ・拠点となる都市計画公園の整備
- ・密集住宅地区におけるオープンスペースの確保や空き地を活用した新たなみどりの創出
- ・香里園駅前における都市機能誘導とあわせた身近に感じることができるみどりの創出
- ・住工共存地における事業者と地域住民等の連携によるみどりの創出

みどりのネットワークに関する課題

- ・淀川や寝屋川、幹線水路などの河川水路のつながりを踏まえた水辺環境のネットワークの充実
- ・京街道などの旧街道や茨田堤碑などの歴史・文化資源とともに存在するみどりのネットワークの充実
- ・香里園駅周辺などにおける「サクラ☆プロジェクト」に基づくみどりのネットワークの形成
- ・みどりの風促進区域（主要地方道京都守口線）におけるセミパブリック空間のみどりの充実
- ・幹線水路の桜並木の適正な保全
- ・都市計画道路香里北線をはじめとする京阪本線連続立体交差事業に伴う環境側道の整備におけるみどりの創出

協働のみどりに関する課題

- ・水辺における市民等や摂南大学等と連携した取り組みの継続・発展
- ・淀川河川公園中流左岸地域協議会における国、周辺市、市民等と連携した取り組みへの展開
- ・小中学校、高等学校、大学等の学校等と連携した、地域の拠点となるみどりの創出

(2) 重点的に取り組むべき課題

以上で把握した人口や年齢構成の推移、みどりの分布状況などの地区特性や課題、またはみどりに関するアンケート結果やこれまでの市民協働による取り組み実績を踏まえながら、戦略的なみどりの保全、創出、充実などを推進するための地区設定を検討するにあたり、本地域において特に重要と考えられる緑化の推進やみどりの保全にかかわる課題について、以下の通り整理しました。

<A 緑化の推進にかかわる課題>

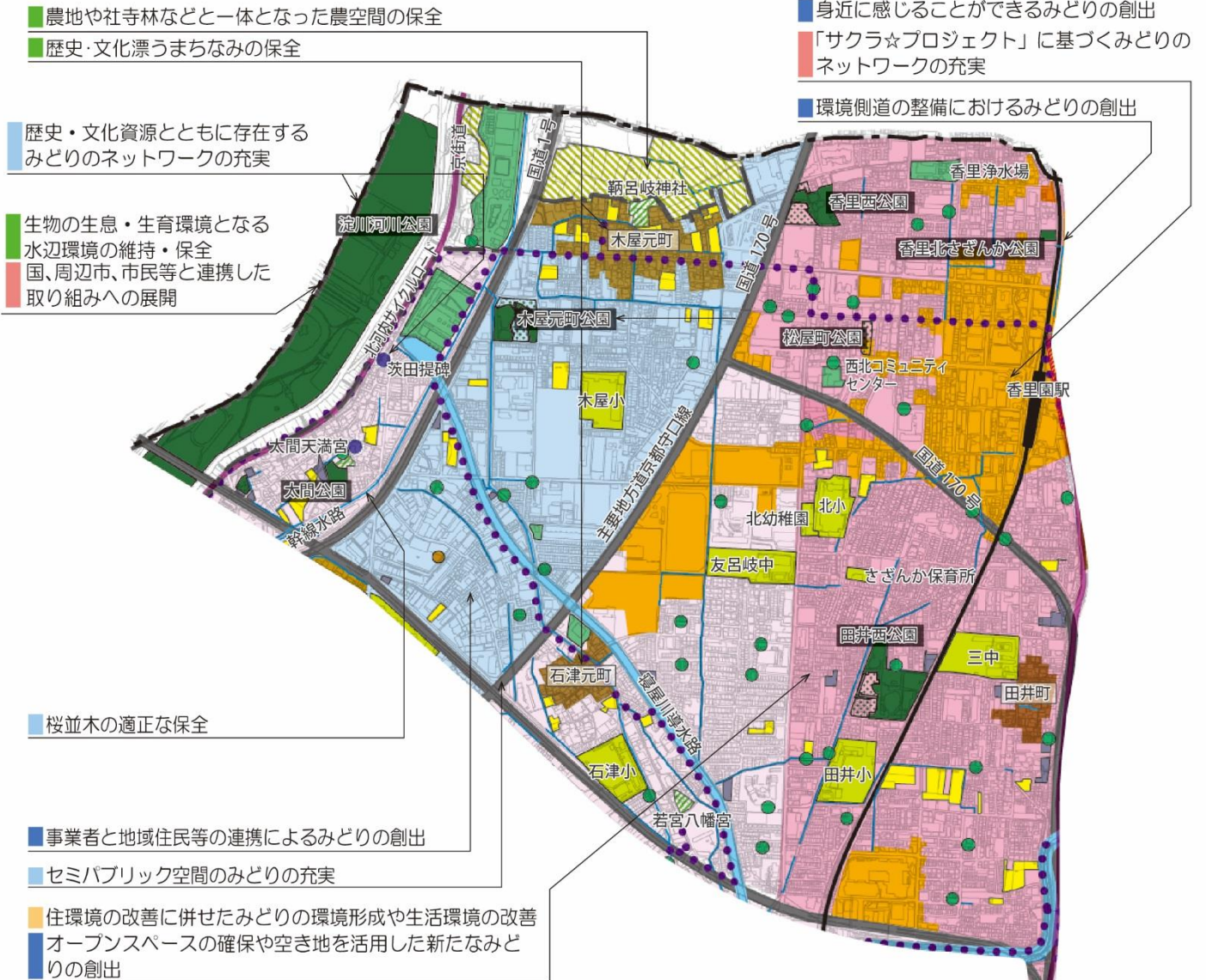
視点	課題
A-①まちづくり事業等に伴う新たなみどりの確保について	<ul style="list-style-type: none"> 【香里園駅周辺地域】では、都市機能誘導区域や景観重点地区としての位置づけとともに、京阪本線連続立体交差事業に伴う都市計画道路枚方八尾線や環境側道の整備、または【密集住宅地区】における整備事業などの推進に伴い、新たなみどりのネットワークの形成やオープンスペースの確保などが求められます。
A-②都市の核としてのにぎわいの創出・市の顔づくりについて	<ul style="list-style-type: none"> 【香里園駅周辺地域】では、今後も本市の『北核』として、にぎわいと魅力ある都市核を形成する中で、戦略的にみどりを創出することにより、市内外から訪れる方々がみどりを感じることができる取り組みが求められます。
A-③みどりの不足する地域におけるみどりの充足について	<ul style="list-style-type: none"> 京阪本線と国道170号、及び枚方市との市境界に囲まれた【密集住宅地区】や国道1号(寝屋川バイパス)と主要地方道京都守口線に挟まれた【住工共存地】では、住区基幹公園などの都市公園などが存在するが、本地域の中でも比較のみどりが少ない状況であるため、公共施設における先導的な緑化とともに、民有地における緑化の促進が求められます。

<B みどりの保全にかかわる課題>

視点	課題
B-①市民協働による保全活動等の展開について	<ul style="list-style-type: none"> • 【淀川河川公園】や【茨田樋遺跡公園】などにおける親水空間整備や生物多様性の保全について、ねや川水辺クラブや淀川河川公園中流左岸地域協議会などと連携した取り組みの継続や、更なる発展が求められます。
B-②貴重種などの生物の生息・生育環境としての保全について	<ul style="list-style-type: none"> • 【淀川河川公園】の生物多様性ホットスポット（淀川ワンド）において、貴重な生物の生息・生育環境として水辺環境の維持・保全を優先的に図ることが求められます。 • 地域内に多数存在する【水路】は、生物の生息・生育環境となっており、淀川と内陸部の寝屋川を繋ぐ水辺環境としての維持・保全が求められます。
B-③寝屋川市の特徴的な景観を形成するみどりの保全について	<ul style="list-style-type: none"> • 【木屋元町周辺の旧集落地】とともに靱呂岐神社やその社寺林、水路、まとまりのある農地など、水・みどり・歴史文化資源が一体となった本市の特徴的な景観が残る貴重なエリアとなっていることから、これらの景観形成に貢献するみどりの保全が求められます。 • 【幹線水路の桜並木】の保全とともに、【淀川沿いの京街道】などにおける水・みどり・歴史文化が一体となった本市の特徴的な都市景観を形成する水辺空間の保全が求められます。 • 【淀川河川公園】では、景観重点地区の位置づけを踏まえ、自然のうらおいが感じられる、豊かな水とみどりがつくる淀川の広大なオープンスペースとそれに映える、美しいまちなみやまなみが織りなす広大な景観を守り、育てる取り組みが求められます。 • 【淀川河川公園】では、これまでのスポーツ・レクリエーションでの利用を継続しつつ、環境学習の場としての活用など、本市が有する貴重な自然環境とのふれあいを促進することによるみどりの充実と適正な運営管理による保全が求められます。
B-④市街地開発等による減少が懸念されるみどりの保全について	<ul style="list-style-type: none"> • 【木屋町周辺の市街化調整区域内農地】の無秩序な転用や、民間開発などに伴う【市街化区域内農地】の減少が懸念されることから、計画的な保全を目的とした多様な主体による運営管理や、【生産緑地地区】の積極的な追加指定などが求められます。

<凡例(みどりの課題)>

- みどりの保全に関する課題
- みどりの充実に関する課題
- みどりの創出に関する課題
- みどりのネットワークに関する課題
- 協働のみどりに関する課題



全域にかかわる課題

- 市街化区域内農地の計画的な保全
- 事業未着手の都市計画公園の見直し
- 地域のニーズに応じた公園のマネジメントの推進
- 拠点となる都市計画公園の整備
- 公園施設の計画的な維持管理
- 河川水路のつながりを踏まえた水辺環境のネットワークの充実
- 公共公益施設や駅前広場における植栽事業等によるみどりづくりの推進
- 水辺における市民等や大学等と連携した取り組みの継続・発展
- 学校敷地におけるみどりづくりの推進
- 学校等と連携した地域の拠点となるみどりの創出

<凡例(みどりの現状)>

- 河川
- 水路
- 歴史街道
- 主要な幹線道路等
- 都市公園・都市緑地
- 事業未着手の都市公園・都市緑地
- その他の都市公園
- その他の公園、ちびっこ広場
- 文化財等
- 学校等(大、高、小、中、幼、保)
- 公共公益施設等
- 生産緑地
- 市街化調整区域内農地
- 樹林地
- 住宅地(全般)
- 商業・業務地
- 密集住宅地区
- 宅地化農地
- 住工共存地
- 旧集落地
- 文化と歴史のみち
- 桜街道

<図2 みどりの現状と個別の課題(①北西部地域)>

<凡例(重点的に取り組むべき課題の視点)>















A 緑化の推進にかかわる課題

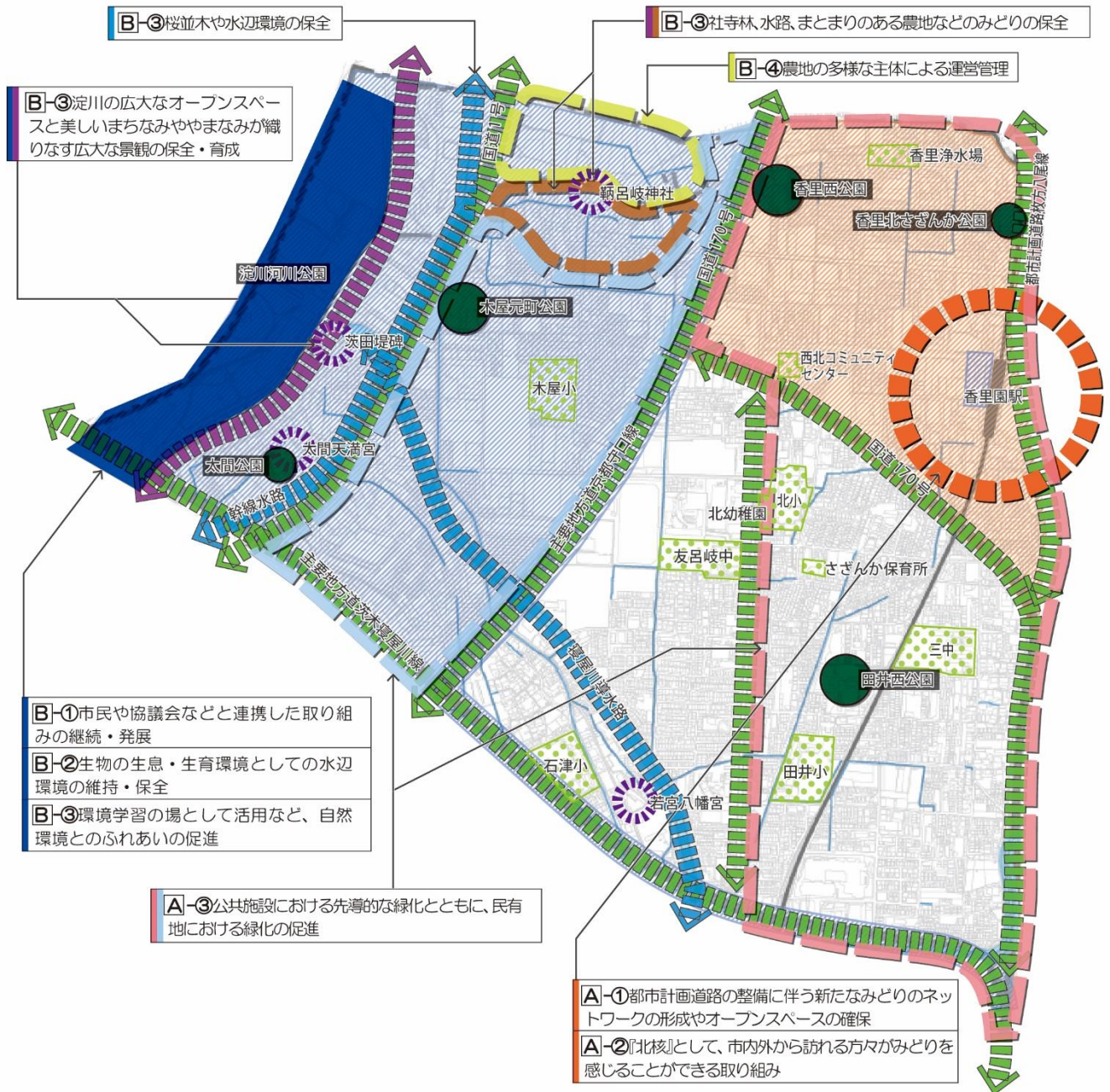
- A-① まちづくり事業等に伴う新たなみどりの確保について
- A-② 都市の核としてのにぎわいの創出・市の顔づくりについて
- A-③ みどりの不足する地域におけるみどりの充足について

B みどりの保全に関わる課題

- B-① 市民協働による保全活動等の展開について
- B-② 貴重種などの生物の生息・生育環境としての保全について
- B-③ 寝屋川市の特徴的な景観を形成するみどりの保全について
- B-④ 市街地開発等による減少が懸念されるみどりの保全について

<凡例(重点的に取り組むべき場所)>

- | | | | | |
|--|---|--|--|--|
|  骨格となるみどり |  駅周辺地域 |  主要な河川・水辺 |  密集住宅地区 |  住工共存地 |
|  拠点となるみどり |  社寺林・保存樹 |  主要な幹線道路 |  旧集落地 |  市街化調整区域内農地 |
|  学校・公共施設 |  歴史街道 |  景観重点地区 |  都市機能誘導区域 | |




全域にかかわる課題

- B-②** 地域内に多数存在する水路について、淀川と内陸部の寝屋川を繋ぐ水辺環境としての維持・保全
- B-④** 生産緑地地区の積極的な追加指定

<図 3 重点的に取り組むべき課題 (①北西部地域) >

2-1. 地域の現状【②北東部地域】

1. 地域の概況							
①地域面積	328.1ha			現状(H29)	推計(H52)		
②市街化区域面積	328.1ha	⑤地域人口		38,930	29,929		
③市街化調整区域面積	0.0ha	⑥年齢別人口	0-9歳	3,118	1,650		
④町丁目 	境橋町、郡元町、香里本通町、国松町、三井が丘1丁目、三井が丘2丁目、三井が丘3丁目、三井が丘4丁目、三井が丘5丁目、三井南町、菅相塚町、成田西町、成田町、成田東が丘、成田東町、成田南町、川勝町、池の瀬町、東香里園町、八幡台、美井元町、美井町、末広町、明德1丁目、明德2丁目		10-19歳	3,498	1,982		
			20-29歳	3,282	2,237		
			30-39歳	4,133	2,412		
			40-49歳	6,110	2,815		
			50-59歳	4,513	3,519		
			60-69歳	5,765	5,343		
⑦地域内世帯数	17,570世帯	70-79歳	5,416	4,452			
⑧人口密度	118.7人/ha	80歳以上	3,094	5,519			
⑨人数/世帯	2.2人/世帯	※小数点以下四捨五入のため地域人口と年齢別人口の合計が異なる場合がある					
2. 社会的条件等							
①土地利用概況	<ul style="list-style-type: none"> 香里園駅東側には、商業・業務地が形成されている。 地域内の東部には、ゆとりある住宅地が広がっている。 三井が丘周辺には、府営住宅などの中高層住宅が立地している。 郡元町、国松町などには旧集落地が点在している。 						
②上位関連計画における位置付け	<p>《都市計画マスタープラン》</p> <ul style="list-style-type: none"> 香里園駅周辺は、「都市の拠点（都市核）」として位置付けられ、便利で暮らしやすいにぎわいのあるまちとしてのブランド確立など、本市の「北核」としての魅力向上が求められている。 寝屋川公園墓地は、「レクリエーション拠点」として位置づけられている。 <p>《立地適正化計画》</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市機能誘導区域（香里園駅周辺地区【中心拠点】）として、商業施設（中規模）、教育文化施設（伝統文化・芸術に係る施設）、宿泊施設が誘導施設として挙げられている。 都市機能誘導区域（寝屋川団地・三井団地周辺地区【生活拠点】）として、診療所や商業施設（小規模）が誘導施設として挙げられている。 <p>《景観計画》</p> <ul style="list-style-type: none"> 香里園駅東側では、香里園駅東再開発地区周辺景観重点地区に位置付けられている。 <p>《都市計画道路整備方針》</p> <ul style="list-style-type: none"> 香里線は、香里園駅につながる「整備重要路線」として位置づけられている。 						
③法的規制・誘導	<ul style="list-style-type: none"> 地区計画区域（三井南町地区、成田西町香風台地区、成田東町地区、成田東が丘地区、香里三井が丘地区、八幡台地区） 						
④事業・プロジェクトの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 香里園駅周辺では、京阪本線連続立体交差事業が進められている。 						
3. みどりの現状							
(1) 施設緑地 ①都市計画公園緑地							
都市計画公園緑地	区分	箇所数	計画決定面積(ha)	開設面積(ha)	開設率(%)	一人当たり面積(m ² /人)	
	住区基幹	街区公園	3	0.56	0.29	51.8	0.07
		近隣公園	2	4.90	2.27	46.3	0.58
		地区公園	0	-	-	-	-
	小計	5	5.46	2.56	46.9	0.66	
	国営公園	0	-	-	-	-	
	広域公園	0	-	-	-	-	
	特殊公園	1	10.60	7.05	66.5	1.81	
	都市緑地	0	-	-	-	-	
	小計	6	16.06	9.61	59.8	2.47	
その他の都市公園	5	-	1.74	-	0.45		
合計	11	-	11.35	-	2.92		
公園リスト ※はすべての区域が未開設の都市計画公園							
街区公園	成田西公園、湯屋が谷さくら公園、※紅ヶ丘公園						
近隣公園	成田公園、国松公園						
地区公園・広域公園・特殊公園・都市緑地	寝屋川公園墓地						
その他の都市公園	1号三井公園、2号三井公園、3号三井公園、成田東が丘第1公園、成田東が丘第4公園						
(1) 施設緑地 ②公共施設緑地							
区分	リスト						
その他の公園（ちびっこ広場等）	44箇所（うち市有地36、官公有地5、民有地3）						
学校等（高等教育機関）	香里又ウェール学院中学校・高等学校、同志社香里中学校・高等学校						
学校等（上記以外）	〈中学校〉第六中、第十中〈小学校〉第五小、三井小、国松緑丘小 〈その他〉さつき保育所						
公共公益施設	東北コミュニティセンター、図書館東北分室、中央高齢者福祉センター						
環境施設帯及び街路樹	国道170号、(主)八尾枝方線、(主)枝方交野寝屋川線、南前川沿いの街路樹など						
(2) 地域制緑地							
区分	面積等	区分	面積等				
ため池	こも池、三ツ池、四方黒池	生産緑地地区	6.46ha				

市街化調整区域内農地	-	地域森林計画対象民有林	-
建築物緑化促進制度	-	地区計画（地区施設等）	-
史跡	-		

(3) その他のみどり資源	
区分	リスト
旧街道・旧集落	〈旧街道〉河内街道、交野街道 〈旧集落〉郡元町、国松町
社寺林・保存樹	春日神社（椎の社叢、クスノキ 2、カシ1、アベマキ1）、友呂 岐神社（クスノキ3）
河川・水路	寝屋川、南前川
文化財等	友呂岐神社、八幡神社、[国登録] 聖母女学院校舎、春日神社の椎の 社叢、伝・秦河勝の墓
宅地化農地	0.28ha
その他	川勝水辺ひろば
(4) 緑被率	
緑被地面積	61.6ha
地域面積に対する緑被率	18.8%
市域面積に対する緑被率	2.5%

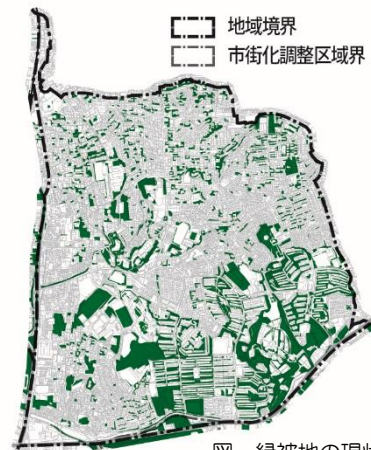


図 緑被地の現状

4. 市民意識		
みどりの量・みどりの変化	印象的なみどり	公園の利用状況
○みどりの量 多い・やや多い【18.6%】 少ない・やや少ない【31.3%】	○印象的（お気に入り）なみどり 1位：打上川治水緑地など大規模公園のみどり【76.8%】 2位：街路樹（桜並木など）などの道路のみどり【33.3%】 3位：淀川や寝屋川など河川の水辺のみどり【23.6%】	○よく行く公園 回答者数 ①成田公園 18 ②寝屋川公園墓地 3 ③湯屋が谷さくら公園 1
○みどりの変化 増えた・やや増えた【28.3%】 減った・やや減った【23.6%】	○まもるべきみどり 1位：まちなかの身近のみどり【46.8%】 1位：街路樹（桜並木など）などの道路のみどり【46.8%】 3位：打上川治水緑地など大規模公園のみどり【44.3%】	※地域内の公園を対象とした 全体回答数の上位3公園

5. 市民協働に関する施策および取り組みの実施状況等		
取り組み	主な実施場所・内容等 ※[]は団体種別	
健康花壇	国松町第4ちびっこ広場[自治会、その他]、三井が丘ロータリー花壇[その他]	
公園緑地等植栽サポーター制度	川勝町自治会	
公園愛護会	・1号三井公園、2号三井公園、3号三井公園、成田西公園、成田公園、国松公園、菅相塚町第1、成田町第1、成田東が丘第12など計25箇所	
市民協働による公園整備等の取り組み	-	
水辺に関する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・川勝水辺広場（「寝屋川の再生に関する計画」に基づき、市民ワークショップを踏まえた親水空間整備の取り組みや大学等と連携した船乗り体験、市民参加による生物調査等の実施） ・寝屋川の保全再生の取り組み（「ねや川水辺クラブ」による「寝屋川市水辺整備基本構想」に基づいた清掃活動や生物調査など寝屋川再生の取り組みの展開） ・クリーンリバー寝屋川作戦の実施（三井団地、川勝町） 	
サクラ☆プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・香里園駅⇒不動尊さくら坂⇒湯屋が谷さくら公園⇒コミュニティロード⇒成田山不動尊およびその参道⇒成田西公園⇒成田公園を結ぶルートを桜街道として指定 ・寝屋川沿い、三井団地の桜並木などを桜街道として指定 	
アドプトロード・リバー	<ul style="list-style-type: none"> <ロード>寝屋川香里本通（ローソン寝屋川香里本通店） <リバー>南前川（おかもめ桜の会）、寝屋川（Eco ボランティア「秦の燈台守」） 	
6. 生物の生息・生育環境の存在状況等		
文献・調査等	場所等	確認されている生物種等（大阪府レッドリスト2014記載）
寝屋川市環境基本計画	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の水路 ・寝屋川 	<ul style="list-style-type: none"> [準絶滅危惧]コウガイモ、[絶滅危惧Ⅰ類]ミズアオイ [絶滅危惧Ⅱ類]ミナミメダカ

2-2. 地域の現状から見た特徴【②北東部地域】

《地域人口等》

- 地域面積 328.1ha（全域が市街化区域）であり、平成 29 年の地域人口は 38,930 人（上位 4 番目）です。
- 平成 52 年推計人口は 29,929 人で減少率は 23.1%（上位 3 番目）です。

《土地利用状況等》

- 土地利用状況としては、香里園駅周辺における商業業務地をはじめ、東部丘陵地を中心に比較的ゆとりのある低層住宅地や、寝屋川団地や三井団地などの中高層住宅地が形成されるなど、民有地のみどりを含めて地域全域で緑被地が見られます。
- 関連計画や事業・プロジェクトの状況としては、香里園駅周辺地域において、都市計画マスタープランなどの位置づけを踏まえ、連立事業により供出される高架下空間等への機能導入や駅前空間の高度化などによる有効活用を進め、商業施設や教育文化施設、宿泊施設の誘導を図るとともに、景観重点地区としての景観形成を推進することとしています。
- また、寝屋川団地・三井団地周辺地区では生活拠点としての機能を誘導することとしています。
- 東部丘陵地の低層住宅地を中心に、地区計画区域の指定による良好な住環境の保全を図っており、比較的ゆとりのある敷地内のみどりが存在しています。

《みどりの現状》

- 都市公園等の配置状況は、成田西公園などの住区基幹公園や寝屋川公園墓場が整備されていますが、一部未開設およびすべての区域が未開設の都市計画公園もあり、都市公園面積は 11.35ha（上位 5 番目）・一人当たり公園面積 2.92 m²/人（上位 5 番目）、都市計画公園緑地の整備率は 59.8%（上位 4 番目）と比較的低く、特に末広町や成田東町周辺では都市公園が少ない状況です。
- 寝屋川団地や三井団地周辺、または低層住宅地の敷地内でみどりが点在しており、緑被率は 18.8%（上位 3 番目）となっています。
- 地域内には、寝屋川などの水辺を活かした親水空間や、大規模な敷地を有する学校法人など、地域の拠点と成り得るみどりが存在しています。

《市民意識》

- 76.8%の方が「打上川治水緑地などの大規模公園」を印象的なみどりとして認識されています。
- 31.3%（上位 3 番目）の方が「みどりが少ない」、23.6%（上位 2 番目）の方が「みどりが減った」と回答されており、都市公園などのまとまったみどりが少なく、近年の開発などによって樹林地などが減少したと感じられている方が多いのではないかと考えられます。

《協働に関する施策および取り組みの実施状況等》

- 寝屋川市水辺整備基本構想に基づく川勝水辺広場や、寝屋川の水辺空間における地元自治会や大学連携による市民協働の取り組み実績を有しています。
- クリーンリバー寝屋川作戦による寝屋川の清掃活動が行われています。

2-3. みどりの課題【②北東部地域】

(1) 個別の課題

みどりの保全に関する課題

- ・寝屋川公園墓地などに残る生物多様性が確保された貴重な樹林地の保全
- ・寝屋川などの河川における生物の生息・生育環境としての水辺環境の保全
- ・川勝水辺広場などにおける市民参加による生物調査を通じた環境学習の場としての水辺環境の保全
- ・郡元町や国松町などの旧集落や、東部丘陵地などのゆとりある住宅地の豊かなみどりの保全
- ・成田山不動尊などの神社仏閣における樹林などについて、保存樹の指定による保全
- ・市街化区域内農地の計画的な保全

みどりの充実に関する課題

- ・国松公園や成田公園、成田西公園等の住区基幹公園、その他都市公園、ちびっ子広場等における地域のニーズに応じた公園のマネジメントの推進
- ・公園施設の計画的な維持管理
- ・東北コミュニティセンター等の公共公益施設における緑化事業等の推進
- ・小中学校、包括連携協定を結ぶ2つの学校法人と連携したグラウンドなどを活用した緑化推進
- ・川勝水辺広場の再整備などによる充実

みどりの創出に関する課題

- ・紅ヶ丘公園などの事業未着手の都市計画公園の見直し
- ・拠点となる都市計画公園の整備
- ・香里園駅周辺における都市機能誘導とあわせた身近に感じることができるみどりの創出
- ・小中学校、高等学校、大学等の学校敷地におけるみどりづくりの推進

みどりのネットワークに関する課題

- ・寝屋川や南前川等の河川を活かした水辺環境のネットワークの充実
- ・都市計画道路枚方八尾線や香里線の整備に伴う街路樹や植樹柵によるネットワークの充実
- ・河内街道などの旧街道における歴史・文化資源とともに存在するみどりのネットワークの充実
- ・香里園駅周辺地域における「サクラ☆プロジェクト」の推進によるみどりのネットワークの形成

協働のみどりに関する課題

- ・川勝水辺広場などの水辺で実施されてきた市民等や大学等との連携による市民活動の更なる促進や地域への展開など、市民等との協働によるみどりづくりの充実
- ・寝屋川市水辺整備基本構想に基づく取り組みの推進
- ・小中学校、高等学校、大学等の学校等と連携した、地域の拠点となるみどりの創出

(2) 重点的に取り組むべき課題

以上で把握した人口や年齢構成の推移、みどりの分布状況などの地区特性や課題、またはみどりに関するアンケート結果やこれまでの市民協働による取り組み実績を踏まえながら、戦略的なみどりの保全、創出、充実などを推進するための地区設定を検討するにあたり、本地域において特に重要と考えられる緑化の推進やみどりの保全にかかわる課題について、以下の通り整理しました。

<A 緑化の推進にかかわる課題>

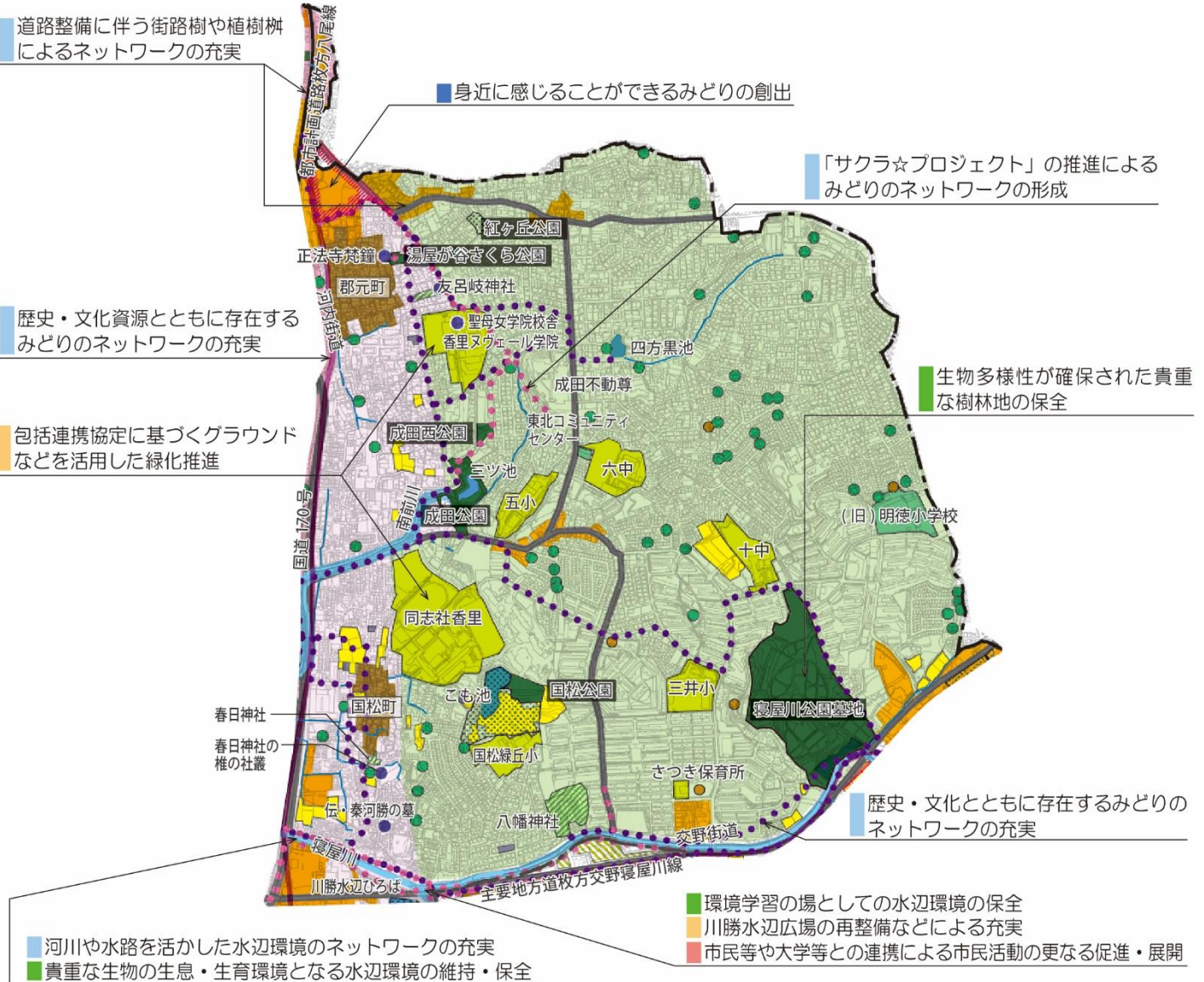
視点	課題
A-①まちづくり事業等に伴う新たなみどりの確保について	<ul style="list-style-type: none"> ・【香里園駅周辺地域】や【寝屋川団地・三井団地周辺地域】では、都市機能誘導に伴う計画的なみどりの創出が求められます。 ・駅に繋がる【都市計画道路香里線】を整備する場合や、【都市計画道路枚方八尾線】の整備において、街路樹などによるネットワークの形成、またはポケットパークなどによるみどりの空間形成が求められます。
A-②都市の核としてのにぎわいの創出・市の顔づくりについて	<ul style="list-style-type: none"> ・【香里園駅周辺地域】では、今後も本市の『北核』として、にぎわいと魅力ある都市核を形成するなかで、戦略的にみどりを創出することにより、市内外から訪れる方々がみどりを感じることができる取り組みが求められます。 ・【香里園駅⇒湯屋が谷桜公園⇒成田公園を結ぶルート】上は、サクラ☆プロジェクトにより保全、植樹する桜街道や成田山不動尊などの歴史文化資源を活かしたネットワークの形成が求められます。
A-③みどりの不足する地域におけるみどりの充足について	<ul style="list-style-type: none"> ・【東部丘陵地】などの住宅敷地内におけるみどりや、その他都市公園・ちびっこ広場などが点在するものの、住区基幹公園などのまとまったみどりが少なく、都市計画公園緑地が計画されていないことから、学校などの【大規模な公共施設】を活用するなど、地域の活動拠点及びシンボルとなるみどりの創出が求められます。

<B みどりの保全にかかわる課題>

視点	課題
B-①市民協働による保全活動等の展開について	<ul style="list-style-type: none"> 川勝水辺広場などの【寝屋川の水辺】では、これまでに実施されてきた親水空間の整備等の取り組みや、大学等と連携した船乗り体験、市民参加による生物調査など、市民や大学等との連携による水辺環境の保全活動の更なる促進が求められます。
B-②貴重種などの生物の生息・生育環境としての保全について	<ul style="list-style-type: none"> 貴重種が確認されている【寝屋川の水辺】は、生物の生息・生育環境としての保全を図る中で、川勝水辺広場などにおける生物調査を通じた環境学習の場としての活用が求められます。
B-③寝屋川市の特徴的な景観を形成するみどりの保全について	<ul style="list-style-type: none"> 【寝屋川の水辺】や【郡元町や国松町などの旧集落地】において、水辺や歴史文化にみどりが融合した景観形成が求められます。 【成田山不動尊】をはじめとする社寺仏閣における樹木の保全が求められます。
B-④市街地開発等による減少が懸念されるみどりの保全について	<ul style="list-style-type: none"> 民間開発などに伴う宅地化農地等の減少が懸念されることから、【生産緑地地区】の積極的な追加指定などが求められます。

<凡例(みどりの課題)>

- みどりの保全に関する課題
- みどりの充実に関する課題
- みどりの創出に関する課題
- みどりのネットワークに関する課題
- 協働のみどりに関する課題



全域にかかわる課題

- 旧集落などのゆとりある住宅地の豊かなみどりの保全
- 事業未着手の都市計画公園の見直し
- 神社仏閣における樹林などについて、保存樹の指定による保全
- 拠点となる都市計画公園の整備
- 市街化区域内農地の計画的な保全
- 学校敷地におけるみどりづくりの推進
- 地域のニーズに応じた公園のマネジメントの推進
- 寝屋川市水辺整備基本構想に基づく取り組みの推進
- 公園施設の計画的な維持管理
- 学校等と連携した、地域の拠点となるみどりの創出
- 公共公益施設における緑化事業等の推進

<凡例(みどりの現状)>

- | | | | |
|-------------|--------------------|--------------|-----------------|
| ■ 河川 | ■ 事業未着手の都市公園・都市緑地 | ■ 生産緑地 | ■ 宅地化農地 |
| ■ 水路 | ■ その他の都市公園 | ■ 市街化調整区域内農地 | ■ 密集住宅地区 |
| ■ ため池 | ■ その他の公園、ちびっこ広場 | ■ 樹林地 | ■ 旧集落地 |
| ■ 歴史街道 | ■ 文化財等 | ■ 住宅地(全般) | ■ まちづくりに関する事業区域 |
| ■ 主要な幹線道路等 | ■ 学校等(大、高、小、中、幼、保) | ■ ゆとりある住宅地 | ■ 文化と歴史のみち |
| ■ 都市公園・都市緑地 | ■ 公共公益施設等 | ■ 商業・業務地 | ■ 桜街道 |

<図 4 みどりの現状と個別の課題(②北東部地域)>

<凡例(重点的に取り組むべき課題の視点)>















A 緑化の推進にかかわる課題

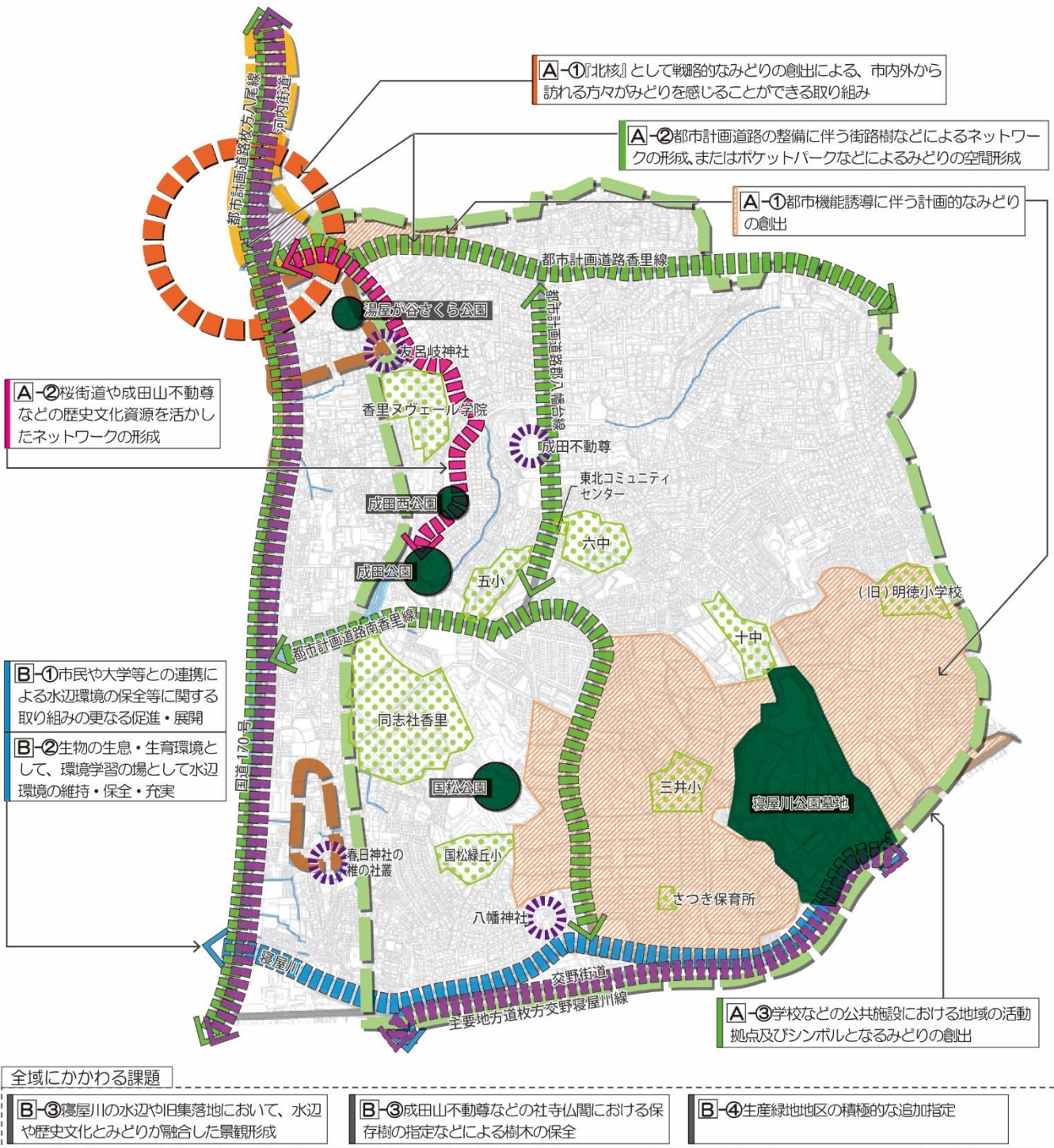
- A-① まちづくり事業等に伴う新たなみどりの確保について
- A-② 都市の核としてのにぎわいの創出・市の顔づくりについて
- A-③ みどりの不足する地域におけるみどりの充足について

B みどりの保全に関わる課題

- B-① 市民協働による保全活動等の展開について
- B-② 貴重種などの生物の生息・生育環境としての保全について
- B-③ 寝屋川市の特徴的な景観を形成するみどりの保全について
- B-④ 市街地開発等による減少が懸念されるみどりの保全について


<凡例(重点的に取り組むべき場所)>

- | | | | | |
|--|---|--|--|--|
|  骨格となるみどり |  駅周辺地域 |  主要な河川・水辺 |  商業・業務地 |  ゆとりある住宅地 |
|  拠点となるみどり |  社寺林・保存樹 |  主要な幹線道路 |  旧集落地 |  景観重点地区 |
|  学校・公共施設 |  歴史街道 |  景観重点地区 |  都市機能誘導区域 | |



<図5 重点的に取り組むべき課題(②北東部地域)>

3-1. 地域の現状【③西部地域】

1. 地域の概況							
①地域面積	349.2ha			現状(H29)	推計(H52)		
②市街化区域面積	257.5ha	⑤地域人口		24,886人	17,471人		
③市街化調整区域面積	91.7ha	⑥年齢別人口	0-9歳	2,166人	1,011人		
④町丁目 	葛原1丁目、葛原2丁目、葛原新町、高柳6丁目、高柳7丁目、黒原旭町、黒原橋町、黒原城内町、黒原新町、仁和寺町、仁和寺本町1丁目、仁和寺本町2丁目、仁和寺本町3丁目、仁和寺本町4丁目、仁和寺本町5丁目、仁和寺本町6丁目、対馬江西町、対馬江東町、池田中町、点野1丁目、点野2丁目、点野3丁目、点野4丁目、点野5丁目、点野6丁目		10-19歳	2,418人	1,178人		
			20-29歳	2,182人	1,531人		
			30-39歳	2,817人	1,745人		
			40-49歳	4,120人	1,742人		
			50-59歳	2,627人	1,846人		
			60-69歳	3,572人	3,109人		
			70-79歳	3,596人	2,591人		
80歳以上	1,388人	2,718人					
⑦地域内世帯数	11,050世帯	※小数点以下四捨五入のため地域人口と年齢別人口の合計が異なる場合がある					
⑧人口密度	71.3人/ha						
⑨人数/世帯	2.3人/世帯						
2. 社会的条件等							
①土地利用概況	<ul style="list-style-type: none"> ・国道1号（寝屋川バイパス）と主要地方道京都守口線に挟まれた地域は住工共存地となっている。 ・地域の大半は住宅地が占めている。 ・仁和寺本町、葛原2丁目、対馬江西町・東町、黒原城中町などには旧集落地が存在しており、仁和寺本町には旧集落地に接してまとまりのある農地が存在している。 						
②上位関連計画における位置付け	<p>《都市計画マスタープラン》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・淀川河川公園は、「レクリエーション拠点」として位置付けられている。 <p>《立地適正化計画》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の地域の生活の拠点としてのポテンシャルを有することから、都市機能誘導区域（仁和寺周辺地区【生活拠点】）に位置づけられ、商業施設（小規模）が誘導施設として挙げられている。 <p>《景観計画》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寝屋川市景観計画において、主要地方道京都守口線以北のエリアが淀川河川軸景観重点地区に位置付けられている。 						
③法的規制・誘導	<ul style="list-style-type: none"> ・地区計画区域（仁和寺松下住宅地区） 						
④事業・プロジェクトの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・淀川河川公園では、淀川河川公園中流左岸域地域協議会において承認された「太間・点野野草地区公園整備計画」に基づき、点野ワンドの自然環境の保全と川に親しむ場づくりなどが進められている。 						
3. みどりの現状							
(1) 施設緑地 ①都市計画公園緑地							
	区分	箇所数	計画決定面積(ha)	開設面積(ha)	開設率(%)	一人当たり面積(m ² /人)	
都市計画公園緑地	住区基幹	街区公園	0	-	-	-	
		近隣公園	3	5.40	0.37	6.9	0.15
		地区公園	0	-	-	-	-
		小計	3	5.40	0.37	6.9	0.15
		国営公園	1	16.27	16.27	100.0	6.54
		広域公園	0	-	-	-	-
		特殊公園	0	-	-	-	-
		都市緑地	0	-	-	-	-
		小計	4	21.67	16.64	76.8	6.69
		その他の都市公園	2	-	0.20	-	0.08
	合計	6	-	16.84	-	6.77	
	区分	公園リスト ※は未開設の都市計画公園					
	街区公園	-					
	近隣公園	黒原旭町公園、※仁和寺公園、※点野公園					
	地区公園・広域公園・特殊公園・都市緑地	淀川河川公園					
	その他の都市公園	黒原新町第1公園、黒原新町第2公園					
(1) 施設緑地 ②公共施設緑地							
	区分	リスト					
	その他の公園（ちびっこ広場等）	36箇所（うち市有地30、民有地6）					
	学校等（高等教育機関）	摂南大学、西寝屋川高校					
	学校等（上記以外）	〈中学校〉第八中 〈小学校〉点野小、啓明小 〈その他〉啓明幼稚園、さくら保育所					
	公共公益施設	西コミュニティセンター					
	環境施設帯及び街路樹	国道1号（寝屋川バイパス）、（主）京都・守口線、（主）八尾茨木線					

(2) 地域制緑地			
区分	面積等	区分	面積等
ため池	-	生産緑地地区	12.83ha
市街化調整区域内農地	-	地域森林計画対象民有林	-
建築物緑化促進制度	-	地区計画（地区施設等）	-
史跡	-		

(3) その他のみどり資源	
区分	リスト
旧街道・旧集落	〈旧街道〉京街道、交野街道 〈旧集落〉仁和寺本町、葛原2丁目、 対馬江西・東町、黒原城内町
社寺林・保存樹	仁和寺氏神社（クスノキ6本）、 菅原神社（クスノキ2本）
河川・水路	幹線水路、寝屋川第4・第5・第6・ 第7・第8水路、点野第1・第2水 路、池田第1水路、葛原代1水路、対 馬江第1水路、黒原第1水路
宅地化農地	2.00ha
文化財等	仁和寺氏神社、[市・指定]正立寺梵鐘 （正立寺）
その他	北河内サイクルロード
(4) 緑被率	
緑被地面積	70.1ha
地域面積に対する緑被率	20.1%
市域面積に対する緑被率	2.8%



図 緑被地の現状

4. 市民意識		
みどりの量・みどりの変化	印象的なみどり	公園の利用状況
○みどりの量 多い・やや多い 【7.2%】 少ない・やや少ない【36.9%】	○印象的（お気に入り）なみどり 1位：淀川や寝屋川など河川の水辺やみどり 【55.3%】 2位：打上川治水緑地など大規模公園のみどり 【45.3%】 3位：街路樹（桜並木など）などの道路のみどり【22.9%】	○よく行く公園 回答者数 ①黒原旭町公園 3 ①黒原新町第1公園 3 ③仁和寺公園 1 ③点野公園 1
○みどりの変化 増えた・やや増えた【25.1%】 減った・やや減った【12.9%】	○まもるべきみどり 1位：淀川や寝屋川など河川の水辺やみどり 【40.2%】 2位：街路樹（桜並木など）などの道路のみどり【39.7%】 3位：まちなかの身近な公園のみどり 【38.0%】	※地域内の公園を対象とした 全体回答数の上位4公園

5. 市民協働に関する施策および取り組みの実施状況等	
取り組み	主な実施場所・内容等
健康花壇	・黒原城内町（水路敷跡）[自治会]、美井元町第1ちびっこ広場[愛護会]
公園緑地等植栽サポーター制度	・黒原橋町自治会（和光小学校の生徒、先生、自治会が連携して実施）
公園愛護会	・葛原1丁目第1公園、仁和寺町第1公園など計20箇所（すべてその他の公園）
水辺に関する取り組み	・淀川河川公園では、淀川河川公園基本計画に基づき、「水辺環境保全ゾーン」の実現に向けた国・市・大学等が連携した公園づくりが進められている。 ・淀川河川公園点野野草地区において点野親水空間整備事業が進められ、国、ねや川水辺クラブ、摂南大学などが連携して親水空間の整備が予定されている。
アドプトロード・リバー	<ロード>仁和寺本町4丁目（トヨタカローラ大阪(株)寝屋川店）、仁和寺本町3丁目（㈱トヨタユーゼックTAA 近畿会場）、仁和寺（中西化工(株)）、仁和寺本町（仁和寺本町トヨタ会）、葛原1丁目（ヤマト運輸(株)北大阪主管支店）

6. 生物の生息・生育環境の存在状況等		
文献・調査等	場所等	確認されている生物種等（大阪府レッドリスト2014記載）
大阪府レッドリスト	・点野ワンド（生物多様性ホットスポットとして点野ワンドを含む淀川ワンドが位置付けられている）	[絶滅危惧Ⅰ類]イタセンバラ、アユモドキ

3-2. 地域の現状から見た特徴【③西部地域】

《地域人口等》

- 地域面積 349.2ha（市街化区域面積 257.5ha、市街化調整区域面積 91.7ha）であり、平成 29 年の地域人口は 24,886 人（上位 6 番目）です。
- 平成 52 年推計人口は 17,471 人となっており、減少率は 29.8%（上位 1 番目）です。

《土地利用状況等》

- 国道 1 号と主要地方道京都守口線に挟まれた地域には住工共存地が形成されており、みどりが少ない状況となっています。
- 関連計画や事業・プロジェクトの状況としては、淀川河川公園中流左岸地域協議会において承認された「太間・点野野草地区公園整備計画」に基づく点野ワンドの自然環境の保全と活用を図るための整備が進められています。
- 仁和寺周辺地域において、立地適正化計画による都市機能誘導区域の位置づけを踏まえ、公共交通の中継・乗り継ぎ等、交通結節機能の維持強化や商業施設を誘導することとしています。

《みどりの現状》

- 都市公園等の配置状況は、都市公園面積は 16.84ha（上位 4 番目）であり、都市計画公園緑地の整備率は 76.8%（上位 2 番目）と比較的高くなっています。
- しかし、住区基幹公園に限って見ると、都市公園面積は 0.37ha で都市計画公園緑地の整備率は 6.9%と非常に低い状況です。
- 緑被状況は、淀川河川公園などのまとまったみどりが存在することから、20.1%（上位 2 番目）と全体目標を上回っていますが、市街地内のみどりは少ない状況です。
- 仁和寺本町などにおいて、比較的にまとまった一団の農地が存在しています。

《市民意識》

- 「淀川や寝屋川など河川の水辺やみどり」や「大規模な公園」が印象的なみどりとして認識されています。
- 「みどりの量」について「少ない・やや少ない」と回答された方は約 37%（上位 1 番目）と多く、「減った・やや減った」は約 12.9%（上位 4 番目）と少ないことから、工場跡地などの住宅地転換は進んできたものの、農地などの減少は比較的緩やかな状況であると感じる方が多いと考えられます。

《協働に関する施策および取り組みの実施状況等》

- 淀川河川公園などの水辺空間における協働の取り組み実績を有しています。

3-3. みどりの課題【③西部地域】

(1) 個別の課題

みどりの保全に関する課題

- ・淀川河川公園における貴重な生物の生息・生育環境となる水辺環境の保全
- ・仁和寺本町などの旧集落地の歴史・文化漂うまちなみの保全
- ・市街化区域内農地の計画的な保全

みどりの充実に関する課題

- ・都市公園、ちびっ子広場等における地域ニーズに応じた公園のマネジメントの推進
- ・公園施設の計画的な維持管理
- ・西コミュニティセンターなどの公共公益施設における緑化事業等の推進
- ・小中学校、高等学校、大学等の学校等におけるみどりづくりの推進

みどりの創出に関する課題

- ・黒原旭町公園などの事業未着手の都市計画公園の見直し
- ・拠点となる都市公園の整備
- ・住工共存地における事業者と地域住民等の連携によるみどりの創出
- ・仁和寺町周辺における都市機能誘導とあわせた身近に感じることができるみどりの創出

みどりのネットワークに関する課題

- ・淀川や寝屋川などの河川のつながりを踏まえた水辺環境のネットワークの充実
- ・京街道など旧街道における歴史・文化資源とともに存在するみどりのネットワークの充実
- ・みどりの風促進区域（主要地方道京都守口線）におけるセミパブリック空間のみどりの充実
- ・幹線水路の桜並木の適正な保全

協働のみどりに関する課題

- ・淀川河川公園や茨田堤遺跡公園などにおける、市民や摂南大学等と連携した取り組みの継続・発展
- ・淀川河川公園中流左岸域地域協議会における国、周辺市、市民等と連携した取り組みへの展開
- ・小中学校、高等学校、大学等の学校等と連携した、地域の拠点となるみどりの創出
- ・寝屋川市水辺整備基本構想に基づく取り組みの推進

(2) 重点的に取り組むべき課題

以上で把握した人口や年齢構成の推移、みどりの分布状況などの地区特性や課題、またはみどりに関するアンケート結果やこれまでの市民協働による取り組み実績を踏まえながら、戦略的なみどりの保全、創出、充実などを推進するための地区設定を検討するにあたり、本地域において特に重要と考えられる緑化の推進やみどりの保全にかかわる課題について、以下の通り整理しました。

<A 緑化の推進にかかわる課題>

視点	課題
A-①まちづくり事業等に伴う新たなみどりの確保について	・【仁和寺周辺地域】では、都市機能誘導区域として位置付けられていることから、地域の生活拠点としての都市機能誘導とあわせた新たなみどりのオープンスペースの確保などが求められます。
A-②都市の核としてのにぎわいの創出・市の顔づくりについて	・本地域には鉄道駅などの都市核を形成する要素は少ないが、【仁和寺周辺地域】での地域の生活拠点における新たなみどりとオープンスペースの確保などが求められます。
A-③みどりの不足する地域におけるみどりの充足について	・国道1号と主要地方道京都守口線に挟まれた【住工共存地】などでは、ちびっこ広場などが点在するものの、拠点となる住区基幹公園が未整備であるため、拠点となる都市計画公園の整備や、【摂南大学】や【西寝屋川高校】などの大規模な公共公益施設を拠点としたみどりづくりが求められます。

<B みどりの保全にかかわる課題>

視点	課題
B-①市民協働による保全活動等の展開について	<ul style="list-style-type: none"> ・【淀川河川公園】における親水空間整備や生物多様性の保全について、ねや川水辺クラブや淀川河川公園中流左岸地域協議会などと連携した取り組みの継続や、更なる発展が求められます。
B-②貴重種などの生物の生息・生育環境としての保全について	<ul style="list-style-type: none"> ・【淀川河川公園】の生物多様性ホットスポット（淀川ワンド）において、貴重な生物の生息・生育環境として水辺環境の維持・保全を優先的に図ることが求められます。 ・本地域内に多数存在する【水路】は、生物の生息・生育環境となっており、淀川と内陸部を繋ぐ水辺環境としての保全が求められます。
B-③寝屋川市の特徴的な景観を形成するみどりの保全について	<ul style="list-style-type: none"> ・【幹線水路の桜並木】の保全とともに、【淀川沿いの京街道】などにおける水・みどり・歴史文化が一体となった本市の特徴的な都市景観を形成する水辺空間の保全が求められます。 ・【淀川河川公園】では、景観重点地区の位置づけを踏まえ、自然のうるおいが感じられる、豊かな水とみどりがつくる淀川の広大なオープンスペースとそれに映える、美しいまちなみややまなみが織りなす広大な景観を守り、育てる取り組みが求められます。 ・【淀川河川公園】では、これまでのスポーツ・レクリエーションでの利用を継続しつつ、環境学習の場としての活用など、本市が有する貴重な自然環境とのふれあいを促進することによるみどりの充実と適正な運営管理による保全が求められます。
B-④市街地開発等による減少が懸念されるみどりの保全について	<ul style="list-style-type: none"> ・民間開発などに伴う宅地化農地等の減少が懸念されることから、【仁和寺本町周辺のまとまった農地】などの計画的な保全を目的とした多様な主体による運営管理や、生産緑地地区の積極的な追加指定などが求められます。

<凡例(みどりの課題)>

- みどりの保全に関する課題
- みどりの充実に関する課題
- みどりの創出に関する課題
- みどりのネットワークに関する課題
- 協働のみどりに関する課題

- 貴重な生物の生息・生育環境となる水辺環境の維持・保全
- 市民や摂南大学等と連携した取り組みの継続・発展
- 国、周辺市、市民等と連携した取り組みへの展開

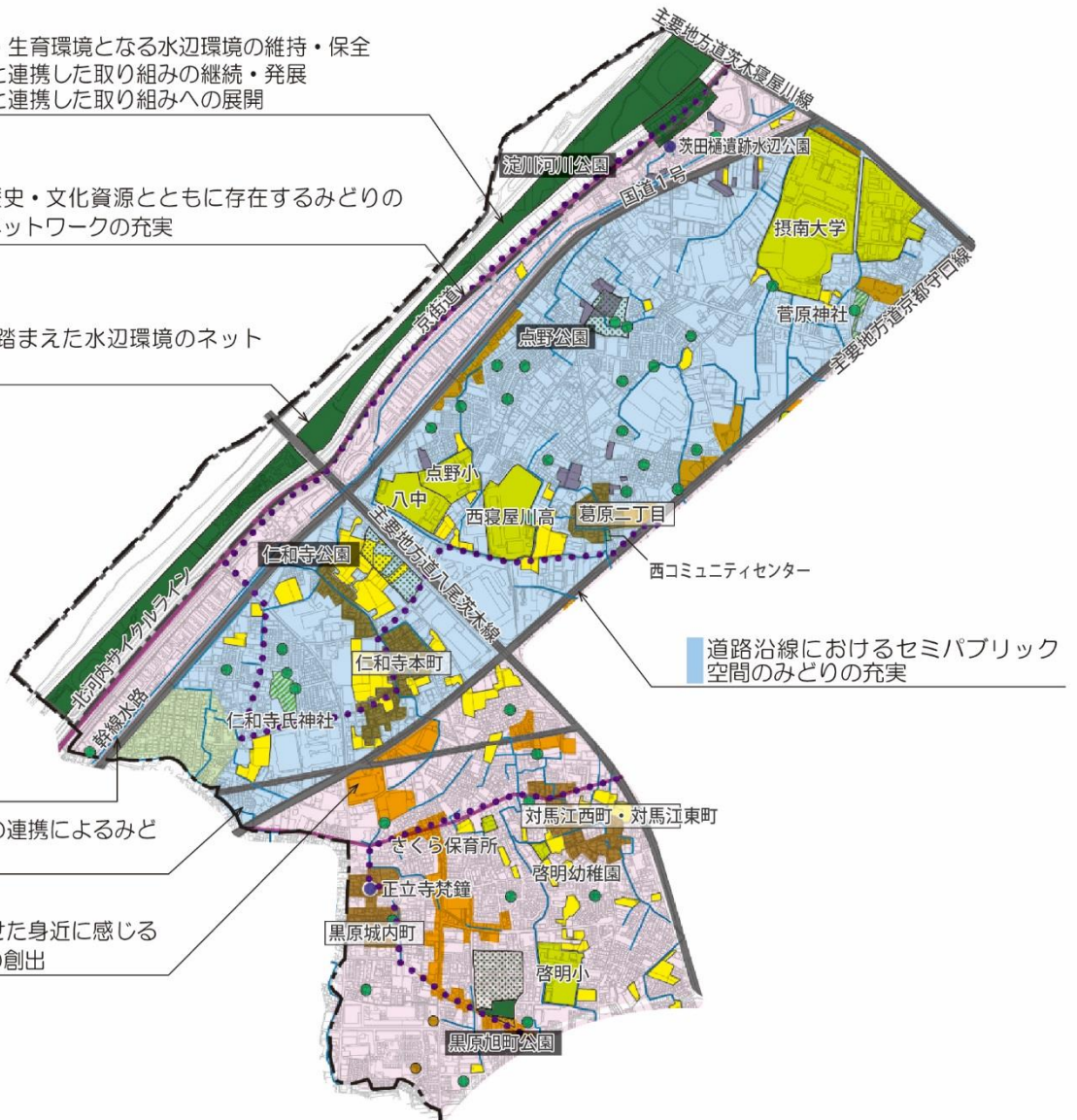
歴史・文化資源とともに存在するみどりのネットワークの充実

河川のつながりを踏まえた水辺環境のネットワークの充実

桜並木の適正な保全

事業者と地域住民等の連携によるみどりの創出

都市機能誘導とあわせた身近に感じることができるみどりの創出



全域にかかわる課題

- 旧集落地の歴史・文化漂うまちなみの保全
- 学校敷地におけるみどりづくりの推進
- 市街化区域内農地の計画的な保全
- 事業未着手の都市計画公園の見直し
- 地域ニーズに応じた公園のマネジメントの推進
- 拠点となる都市公園の整備
- 公園施設の計画的な維持管理
- 学校等と連携した、地域の拠点となるみどりの創出
- 公共公益施設における緑化事業等の推進
- 寝屋川市水辺整備基本構想に基づく取り組みの推進

<凡例(みどりの現状)>

- 河川
- その他の都市公園
- 市街化調整区域内農地
- 密集住宅地区
- 水路
- その他の公園、ちびっこ広場
- 樹林地
- 住工共存地
- 歴史街道
- 文化財等
- 住宅地(全般)
- 旧集落地
- 主要な幹線道路等
- 学校等(大、高、小、中、幼、保)
- ゆとりある住宅地
- 文化と歴史のみち
- 都市公園・都市緑地
- 公共公益施設等
- 商業・業務地
- 桜街道
- 事業未着手の都市公園・都市緑地
- 生産緑地
- 宅地化農地

<図6 みどりの現状と個別の課題(③西部地域)>

<凡例(重点的に取り組むべき課題の視点)>












A 緑化の推進にかかわる課題

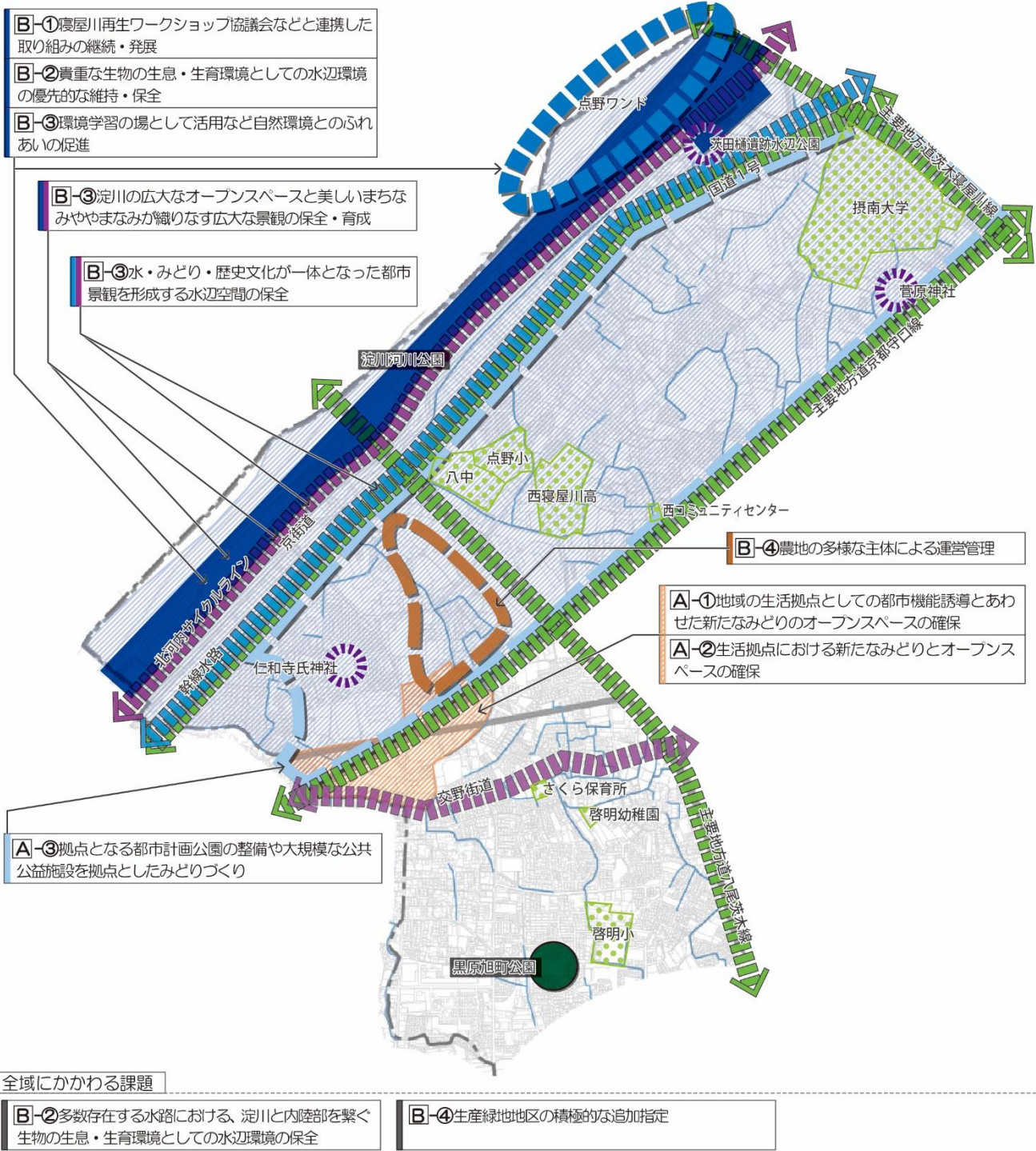
- A-① まちづくり事業等に伴う新たなみどりの確保について
- A-② 都市の核としてのにぎわいの創出・市の顔づくりについて
- A-③ みどりの不足する地域におけるみどりの充足について

B みどりの保全に関わる課題

- B-① 市民協働による保全活動等の展開について
- B-② 貴重種などの生物の生息・生育環境としての保全について
- B-③ 寝屋川市の特徴的な景観を形成するみどりの保全について
- B-④ 市街地開発等による減少が懸念されるみどりの保全について


<凡例(重点的に取り組むべき場所)>

- | | | | |
|--|---|--|--|
|  骨格となるみどり |  社寺林・保存樹 |  主要な河川・水辺 |  住工共存地 |
|  拠点となるみどり |  学校・公共施設 |  主要な幹線道路 |  旧集落地 |
| | |  歴史街道 |  景観重点地区 |
| | | |  都市機能誘導区域 |



<図 7 重点的に取り組むべき課題 (③西部地域)>

4-1. 地域の現状【④中央部地域】

1. 地域の概況							
①地域面積	397.0ha			現状(H29)	推計(H52)		
②市街化区域面積	397.0ha	⑤地域人口	50,863人				
③市街化調整区域面積	—	⑥年齢別人口	0-9歳	3,717人	2,105人		
④町丁目 	錦町、幸町、高宮栄町、高柳1丁目、高柳2丁目、高柳3丁目、高柳4丁目、高柳栄町、桜木町、若葉町、春日町、初町、昭栄町、成美町、早子町、大和元町、大和町、池田1丁目、池田2丁目、池田3丁目、池田町、池田新町、池田西町、池田東町、池田南町、池田本町、長栄寺町、東大和町、日之出町、八坂町、平池町、宝町、豊野町、北大和町、本町、木田町		10-19歳	4,629人	2,306人		
			20-29歳	5,216人	3,197人		
			30-39歳	5,346人	3,374人		
			40-49歳	8,392人	4,283人		
			50-59歳	6,002人	4,181人		
			60-69歳	6,812人	6,099人		
			70-79歳	6,793人	5,680人		
80歳以上	3,956人	5,436人					
⑦地域内世帯数	24,157世帯	※小数点以下四捨五入のため地域人口と年齢別人口の合計が異なる場合がある					
⑧人口密度	128.1人/ha						
⑨人数/世帯	2.1人/世帯						
2. 社会的条件等							
①土地利用概況	<ul style="list-style-type: none"> 寝屋川市駅周辺には商業・業務地が広がり、その他の地域は大半が住宅地となっている。 寝屋川市駅西側には、密集住宅地（密集住宅地区整備事業における池田・大和地区）が広がっている。 池田1丁目、池田2丁目、池田本町、平池町、木田町などには旧集落地が点在している。 						
②上位関連計画における位置付け	<p>《都市計画マスタープラン》</p> <ul style="list-style-type: none"> 寝屋川市駅周辺は、「都市の拠点（都市核）」として位置付けられ、水とみどりに包まれた文化性の高い、魅力と活力にあふれた拠点を目指し、本市の中心核としての形成を推進することとしている。 <p>《立地適正化計画》</p> <ul style="list-style-type: none"> 寝屋川市駅周辺は、都市機能誘導区域（寝屋川市駅周辺地区【中心拠点】）に位置付けられ、病院、商業施設（大規模）、子育て支援施設、行政施設が誘導施設として挙げられている。 緑町周辺は、都市機能等の集積度が特に高く、交通拠点になり得るエリアであり、新たな拠点としてのポテンシャルが高いことから、都市機能誘導区域（緑町周辺地区【生活拠点】）に位置付けられ、商業施設（中規模）、高等専門学校及び大学が誘導施設として挙げられている。 <p>《景観計画》</p> <ul style="list-style-type: none"> 寝屋川市駅周辺では、寝屋川市駅東再開発地区周辺景観重点地区、寝屋川駅前線東部沿道景観重点地区、寝屋川市駅西側駅前広場周辺景観重点地区を指定している。 <p>《都市計画道路整備方針》</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路対馬江大和線は、寝屋川市駅につながる「整備重要路線」として位置づけられている。 						
③法的規制・誘導	<ul style="list-style-type: none"> 地区計画区域（幸町地区、幸町東地区、寝屋川駅前線沿道地区、対馬江大和線沿道地区） 						
④事業・プロジェクトの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 寝屋川市駅西側では、密集住宅地区の改善が進められている。 寝屋川市駅北側では、都市計画道路対馬江大和線の整備を推進している。 						
3. みどりの現状							
(1) 施設緑地 ①都市計画公園緑地							
	区分	箇所数	計画決定面積(ha)	開設面積(ha)	開設率(%)	一人当たり面積(m ² /人)	
都市計画公園緑地	住区基幹	街区公園	4	1.78	1.64	92.1	0.32
		近隣公園	3	5.90	1.38	23.4	0.27
		地区公園	0	-	-	-	-
		小計	7	7.68	3.02	39.3	0.59
		国営公園	0	-	-	-	-
		広域公園	0	-	-	-	-
		特殊公園	0	-	-	-	-
		都市緑地	1	1.71	1.69	98.8	0.33
	小計	8	9.39	4.71	50.2	0.93	
	その他の都市公園	10	-	0.90	-	0.18	
	合計	18	-	5.61	-	1.10	
	区分	公園リスト					
	街区公園	大和公園、池田1号公園、池田けやき公園、幸町公園					
	近隣公園	初本町公園、高柳栄町公園、池田2号公園					
	地区公園・広域公園・特殊公園・都市緑地	友呂岐緑地					
	その他の都市公園	清水町第1公園、成美町公園、池田せせらぎ公園、葛原新町公園、春日どんぐり公園、東大和アペリア公園、高柳つばき公園、桜木町第2公園、平池町第2公園、大和元町公園					
(1) 施設緑地 ②公共施設緑地							
	区分	リスト					
	その他の公園（ちびっこ広場等）	46箇所（うち市有地31、官公有地12、民有地3）					
	学校等（高等教育機関）	大阪電気通信大学、大阪府立大学工業高等専門学校					
	学校等（上記以外）	〈高校〉寝屋川高校 〈中学校〉第二中、第九中 〈小学校〉中央小、池田小、桜小、西小、成美小 〈その他〉中央幼稚園、コスモス保育所					
	公共公益施設	〈官公庁舎〉市役所、総合センター、保健福祉センター、中央公民館、中央図書館、地域交流センター、池の里市民交流センター、男女共同参画推進センター、駅前図書館、こどもセンター、ねやがわシティ・ステーション、西シティ・ステーション、アルカスホール、エスポアール、リラット 〈供給処理施設〉南前川ポンプ場					

	〈その他〉寝屋川駅前親水空間（せせらぎ公園）		
環境施設帯及び街路樹	国道170号、(主)京都市口線、(主)八尾茨木線、(主)枚方交野寝屋川線、(主)八尾枚方線、(府)木屋門真線(市)池田秦線、(市)寝屋川駅前線		
(2) 地域制緑地			
区分	面積等	区分	面積等
ため池	-	生産緑地地区	4.13ha
市街化調整区域内農地	-	地域森林計画対象民有林	-
建築物緑化促進制度	-	地区計画(地区施設等)	-
史跡	-		

(3) その他のみどり資源	
区分	リスト
旧街道・旧集落	〈旧街道〉交野街道 〈旧集落〉池田本町、池田1丁目 池田2丁目、平池町、木田町
宅地化農地	0.40ha
文化財等	大利神社、八坂神社、住吉神社、高柳天満宮
河川・水路	寝屋川、古川、友呂岐水路、二十箇水路、 寝屋川第1・第2・第3・第4・第5・第7・第8水路、 対馬江第1水路、大利水路、 石津第2水路、葛原第1水路
社寺林・保存樹	大利神社(クスノキ4本)、八坂神社(クスノキ4本)、 住吉神社(イチョウ1本)、高柳天満宮(クスノキ5本)



図 緑地の現状

(4) 緑被率	
緑被地面積	約 26.0ha
地域面積に対する緑被率	約 6.6%
市域面積に対する緑被率	約 1.1%

4. 市民意識		
みどりの量・みどりの変化	印象的なみどり	公園の利用状況
○みどりの量 多い・やや多い【13.2%】 少ない・やや少ない【30.6%】	○印象的(お気に入り)なみどり 1位: 打上川治水緑地など大規模公園のみどり【58.4%】 2位: 友呂岐緑地などの緑道のみどり【36.5%】 3位: 淀川や寝屋川など河川の水辺やみどり 寝屋川せせらぎ公園など駅前のみどり【26.3%】	○よく行く公園 回答者数 ①友呂岐緑地 63 ②池田1号公園 22 ③大利公園 20 ③春日どんぐり公園 20 ⑤初本町公園 15
○みどりの変化 増えた・やや増えた【35.0%】 減った・やや減った【11.7%】	○まもるべきみどり 1位: まちなかの身近なみどり【47.4%】 2位: 街路樹(桜並木など)などの道路のみどり【37.2%】 3位: 打上川治水緑地など大規模公園のみどり【32.1%】	※地域内の公園を対象とした 全体回答数の上位5公園

5. 市民協働に関する施策および取り組みの実施状況等

取り組み	主な実施場所・内容等
健康花壇	・高柳栄町公園[自治会]、友呂岐緑地(たこ公園)[シルバー]、本町西[老人会]
公園緑地等植栽サポーター制度	・さわやかロード(中央小学校の児童、保護者、周辺自治会等が連携して実施) ・大利自治会(大利自治会、大利町子ども会、近隣事業者、近畿富山県人会等が連携し、大利公園と友呂岐緑地を結ぶルートでの植栽管理を実施)
公園愛護会	・大利公園、高柳栄町公園、池田けやき公園、友呂岐緑地、清水町第1、池田2丁目第1など計33箇所
協働による公園整備等の取り組み	・大利公園(市民ワークショップを踏まえた大利神社と一体となった災害時避難場所となる公園整備を実施) ・長栄寺ふれあい広場(密集住宅地区整備事業に伴う市民ワークショップを踏まえた公園整備を実施) ・寝屋川駅前線(寝屋川市駅から初本町公園の区間で、小学校、地元自治会等が連携した緑化活動を実施)
水辺に関する取り組み	・駅前せせらぎ公園(市民協働による親水空間の整備) ・幸町公園(市民ワークショップを踏まえた親水公園整備) ・寝屋川の保全再生の取り組み(「ねや川水辺クラブ」による「寝屋川市水辺整備基本構想」に基づいた清掃活動や生物調査など寝屋川再生の取り組みの展開) ・二十箇水路と友呂岐水路合流点(「ねや川水辺クラブ」による船着場等の市民土木工事) ・摂南大学との連携による寝屋川の保全・再生に関する取り組みの実施(寝屋川せせらぎ公園の整備、清掃活動などの保全・再生活動の実施、など) ・クリーンリバー寝屋川作戦の実施(幸町、桜木町、寝屋川市駅前)
サクラプロジェクト	・友呂岐緑地の連続した桜並木の保全と桜街道ルートとしての指定 ・寝屋川市駅⇒初本町公園⇒市役所および寝屋川沿いを結ぶルートを桜街道としての指定
アドプトロード・リバー	<ロード>葛原新町(大阪トヨタ自動車(株)寝屋川店)、西高柳(西高柳自治会)

6. 生物の生息・生育環境の存在状況等

文献・調査等	場所等	確認されている生物種等(大阪府レッドリスト2014記載)
寝屋川市環境基本計画	・市内の水路 ・寝屋川	[準絶滅危惧]コウガイモ、[絶滅危惧Ⅰ類]ミズアオイ、 [絶滅危惧Ⅱ類]ミナミメダカ
自然観察会～水生生物調査～	・幸町公園、打上川、観音橋 ※市民参加の自然観察会兼生物調査(協力:水辺に親しむ会・寝屋川市自然を学ぶ会)	[絶滅危惧Ⅰ類]モノアラガイ [絶滅危惧Ⅱ類]ミナミメダカ、ドジョウ、ヌマムツ、オケラ [準絶滅危惧]ナマス、ガムシ、コオイムシ [種の詳細不明]イトトンボ、ヨシノボリ、アカガエル、テナガエビ ※過去5年間で1回以上確認されたもの

4-2. 地域の現況から見た特徴【④中央部地域】

《地域人口等》

- 地域面積 397.0ha（全域が市街化区域）、平成 29 年地域人口は 50,863 人（上位 1 番目）です。
- 平成 52 年推計人口は 36,662 人で減少率は 27.9%（上位 2 番目）です。

《土地利用状況等》

- 寝屋川市駅周辺は、官公庁舎や教育施設、商業業務施設などの多様な機能が集積しています。
- 主要な幹線道路沿いには、沿道サービス施設などが立地しています。
- 寝屋川市駅西側では密集住宅地区が形成されており、これらの地区は本地域の中でも特にみどりが少ない状況となっています。
- 関連計画や事業・プロジェクトの状況としては、寝屋川市駅周辺地域において、都市計画マスタープランなどの位置づけを踏まえ、市全体の拠点として公共施設等を集積するとともに、都市計画道路対馬江大利線の整備による交通アクセス改善、密集住宅地区の解消、沿道等への機能導入を図り、病院、商業施設、子育て支援施設、行政施設の誘導や、景観重点地区としての景観形成を推進しています。
- 緑町周辺地域では、立地適正化計画による都市機能誘導区域の位置づけを踏まえ、地域住民の生活拠点としての商業機能の維持や、耐用年数を迎える府立大学工業高等専門学校の更新の動向を見極めた機能導入を図ることとしています。
- 都市計画道路対馬江大利線の整備や、密集住宅地区を中心に空き地の有効活用を進めています。

《みどりの現状》

- 都市公園等の配置状況は、初本町公園や大利公園などの住区基幹公園や、友呂岐緑地などが整備されていますが、都市公園面積は 5.61ha（上位 6 番目）・一人当たり面積 1.1 m²/人（上位 6 番目）、都市計画公園緑地の整備率は 50.2%（上位 6 番目）と市域で最も低い地域となっています。
- その他都市公園やちびっ子広場も地域内に多く点在していますが、緑被率についても 6.5%（上位 6 番目）と市域で最も低い地域です。
- 寝屋川市駅周辺では、官公庁舎や教育施設をはじめとする地域のシンボルと成り得る公共公益施設が多く存在しています。
- 寝屋川や古川、友呂岐水路などのネットワークを形成するみどりが多く存在しています。
- 市街化区域内農地（宅地化農地）などの潜在的なみどりが存在しています。

《市民意識》

- 「打上川治水緑地などの大規模公園」や、「友呂岐緑地などの緑道」、「寝屋川せせらぎ公園」などの駅前のみどりが印象的なみどりとして認識されており、友呂岐緑地や池田 1 号公園、大利公園などが多く利用されています。
- 「みどりの量」について「少ない・やや少ない」と回答された方は約 30.6%（上位 5 番目）であり、「減った・やや減った」は約 11.7%（上位 6 番目）となっており、寝屋川市駅前のせせらぎ公園などのシンボリックなみどりの存在効果により、地域の都市公園面積や緑被率の状況（いずれも市域で最低値）と相違しているのではないかと考えられます。

《協働に関する施策および取り組みの実施状況等》

- 大利公園や幸町公園など都市公園をはじめ、寝屋川せせらぎ公園や幸町公園などの親水空間における市民協働の取り組み実績を有する資源が多く存在しています。
- クリーンリバー作戦（春・秋）による寝屋川の清掃活動が行われています。

4-3. みどりの課題【④中央部地域】

(1) 個別の課題

みどりの保全に関する課題

- ・池田周辺などの旧集落地における歴史・文化漂うまちなみの保全
- ・寝屋川や古川、友呂岐水路などの生物の生息・生育環境としての水辺環境の保全
- ・寝屋川せせらぎ公園や幸町公園などの親水空間における、生物調査を通じた環境学習の場としての活用
- ・市街化区域内農地の計画的な保全

みどりの充実に関する課題

- ・池田1号公園や初本町公園、大利公園などの住区基幹公園、その他都市公園、ちびっ子広場等における、地域ニーズに応じた公園のマネジメントの推進
- ・公園施設の計画的な維持管理
- ・寝屋川市駅西側の密集住宅地区における住環境の改善に併せたみどりの環境形成や生活環境の改善
- ・市役所や総合センター、駅前広場などの公共公益施設における植栽事業等によるみどりづくりの推進
- ・小中学校、高等学校、大学等の学校等におけるみどりづくりの推進

みどりの創出に関する課題

- ・池田2号公園や高柳栄町公園などの事業未着手の都市計画公園の見直し
- ・拠点となる都市計画公園の整備
- ・密集住宅地区におけるオープンスペースの確保や空き地を活用した新たなみどりの創出
- ・寝屋川市駅前における都市機能誘導とあわせた身近に感じることができるみどりの創出
- ・緑町周辺地域における商業施設（中規模）や教育文化施設の誘導とあわせたみどりの創出

みどりのネットワークに関する課題

- ・都市計画道路対馬江大利線の整備とあわせた街路樹や植樹帯によるネットワークの充実
- ・寝屋川などの河川や古川などの水路のつながりを踏まえた水辺環境のネットワークの充実
- ・交野街道などの旧街道における歴史・文化資源とともに存在するみどりのネットワークの充実
- ・寝屋川市駅周辺地域における、「サクラ☆プロジェクト」の推進によるみどりのネットワークの形成
- ・友呂岐緑地の桜並木の適正な保全

協働のみどりに関する課題

- ・寝屋川市水辺整備基本構想に基づく寝屋川せせらぎ公園や幸町公園などの寝屋川の水辺空間における地元自治会や大学連携による市民協働の継続・発展
- ・大利公園での地元自治会による運営管理の継続・発展と市域への拡大
- ・小中学校、高等学校、大学等の学校等と連携した、地域の拠点となるみどりの創出
- ・友呂岐緑地の桜などを活用した地域の魅力向上と市の都市格向上

(2) 重点的に取り組むべき課題

以上で把握した人口や年齢構成の推移、みどりの分布状況などの地区特性や課題、またはみどりに関するアンケート結果やこれまでの市民協働による取り組み実績を踏まえながら、戦略的なみどりの保全、創出、充実などを推進するための地区設定を検討するにあたり、本地域において特に重要と考えられる緑化の推進やみどりの保全にかかわる課題について、以下の通り整理しました。

<A 緑化の推進にかかわる課題>

視点	課題
A-①まちづくり事業等に伴う新たなみどりの確保について	<ul style="list-style-type: none"> ・【寝屋川市駅周辺地域】における都市機能誘導区域としての位置づけや、【都市計画道路対馬江大利線】の整備、または【密集住宅地区】を中心とした空き家等の有効活用の推進などを踏まえ、計画的なみどりの創出と新たなネットワークの形成や、住環境改善に合わせたオープンスペースの確保が求められます。 ・【緑町周辺地域】では、都市機能誘導区域として位置付けられていることから、これらに関連するプロジェクトの推進に伴う計画的なみどりの創出などが求められます。
A-②都市の核としてのにぎわいの創出・市の顔づくりについて	<ul style="list-style-type: none"> ・【寝屋川市駅周辺地域】では、景観重点地区の位置づけや、面的に広がる商業・業務地、市街地再開発事業等により整備された様々な都市機能の集積状況を踏まえ、にぎわいと魅力ある都市核の形成と合わせた戦略的なみどりの創出が求められます。 ・【寝屋川せせらぎ公園】では、水とみどりの中核市を印象付ける寝屋川市駅前のシンボルとして、更なるにぎわいの創出・市の顔づくりへの取り組みが求められます。 ・寝屋川市駅東側では、【駅前広場】や【寝屋川市役所庁舎】、【アルカスホール】、または【大阪電気通信大学】などの公共公益施設における先導的なみどりづくりの推進が求められます。 ・【友呂岐緑地⇒寝屋川市駅⇒初本町公園⇒市役所⇒寝屋川沿いを結ぶルート】上は、サクラ☆プロジェクトによる桜の保全、植樹が行われるとともに、本市の行政施設等が集積した多くの人々が往来するエリアであることから、桜をはじめとしたみどり資源を活かしたみどりのネットワークの形成が求められます。
A-③みどりの不足する地域におけるみどりの充足について	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体で緑地や緑被地が少ない状況の中、特に寝屋川市駅西側に広がる【密集住宅地区】では、都市公園等がほとんど存在しておらず、緑被状況についても、本市域全体の中で特にみどりが少ない状況であるため、公共施設の再編に伴う新たな都市公園の整備や、公共施設における先導的な緑化とあわせた民有地緑化の促進が求められます。

<B みどりの保全にかかわる課題>

視点	課題
B-①市民協働による保全活動等の展開について	<ul style="list-style-type: none"> •【幸町公園や寝屋川せせらぎ公園】などにおける親水空間整備や生物多様性の保全について、寝屋川再生ワークショップなどと連携した取り組みの継続や更なる発展が求められます。
B-②貴重種などの生物の生息・生育環境としての保全について	<ul style="list-style-type: none"> •貴重種が確認されている【寝屋川や古川、友呂岐水路】などにおいて、貴重な生物の生息・生育環境としての水辺環境の維持・保全が求められます。 •【幸町公園や寝屋川せせらぎ公園】などで行われている市民参加による生物調査を通じた環境学習の場としての水辺環境の充実が求められます。
B-③寝屋川市の特徴的な景観を形成するみどりの保全について	<ul style="list-style-type: none"> •【寝屋川せせらぎ公園】など、寝屋川市らしい水辺のある都市景観形成に寄与する水辺空間の保全とともに、【寝屋川市駅周辺】のまちなみを一体的にとらえ、本市の中心核としてふさわしい美しい都市景観を形成することが求められます。 •【友呂岐緑地】の桜について、水辺に面した市民に親しみのある緑道のみどりとして、計画的な樹勢回復を行うなど適正な維持管理が求められます。
B-④市街地開発等による減少が懸念されるみどりの保全について	<ul style="list-style-type: none"> •民間開発などに伴う宅地化農地等の減少が懸念されることから、【池田1丁目周辺などのまとまった農地】などの計画的な保全を目的とした多様な主体による運営管理や、生産緑地地区の積極的な追加指定などが求められます。

<凡例(みどりの課題)>

- みどりの保全に関する課題
- みどりの充実に関する課題
- みどりの創出に関する課題
- みどりのネットワークに関する課題
- 協働のみどりに関する課題

■ 地元自治会による運営管理の継続・発展と市域への拡大

■ 街路樹や植栽帯によるネットワークの充実

■ 商業施設や教育文化施設の誘導とあわせたみどりの創出



- 住環境の改善に併せたみどりの環境形成や生活環境の改善
- オープンスペースの確保や空き地を活用した新たなみどりの創出
- 桜並木の適正な保全
- 桜などを活用した地域の魅力向上と都市格向上

- 身近に感じることができるみどりの創出
- 「サクラ☆プロジェクト」の推進によるみどりのネットワークの形成
- 歴史・文化資源とともに存在するみどりのネットワークの充実

全域にかかわる課題

- 旧集落地における歴史・文化漂うまちなみの保全
- 河川・水路における生物の生息・生育環境としての水辺環境の保全
- 市街化区域内農地の計画的な保全
- 地域ニーズに応じた公園のマネジメントの推進
- 公園施設の計画的な維持管理
- 公共公益施設における植栽事業等によるみどりづくりの推進
- 学校等におけるみどりづくりの推進
- 事業未着手の都市計画公園の見直し
- 拠点となる都市計画公園の整備
- 河川や水路のつながりを踏まえた水辺環境のネットワークの充実
- 学校等と連携した地域の拠点となるみどりの創出

<凡例(みどりの現状)>

- | | | | |
|-------------------|--------------------|--------------|-----------------|
| ■ 河川 | ● その他の都市公園 | ■ 市街化調整区域内農地 | ■ まちづくりに関する事業区域 |
| ■ 水路 | ● その他の公園、ちびっこ広場 | ■ 樹林地 | ●●●●● 文化と歴史のみち |
| ■ 歴史街道 | ● 文化財等 | ■ 住宅地(全般) | ●●●●● 桜街道 |
| ■ 主要な幹線道路等 | ■ 学校等(大、高、小、中、幼、保) | ■ 商業・業務地 | |
| ■ 都市公園・都市緑地 | ■ 公共公益施設等 | ■ 密集住宅地区 | |
| ■ 事業未着手の都市公園・都市緑地 | ■ 生産緑地 | ■ 旧集落地 | |
| | ■ 宅地化農地 | | |

<図8 みどりの現状と個別の課題(④中央部地域)>

<凡例(重点的に取り組むべき課題の視点)>

A 緑化の推進にかかわる課題

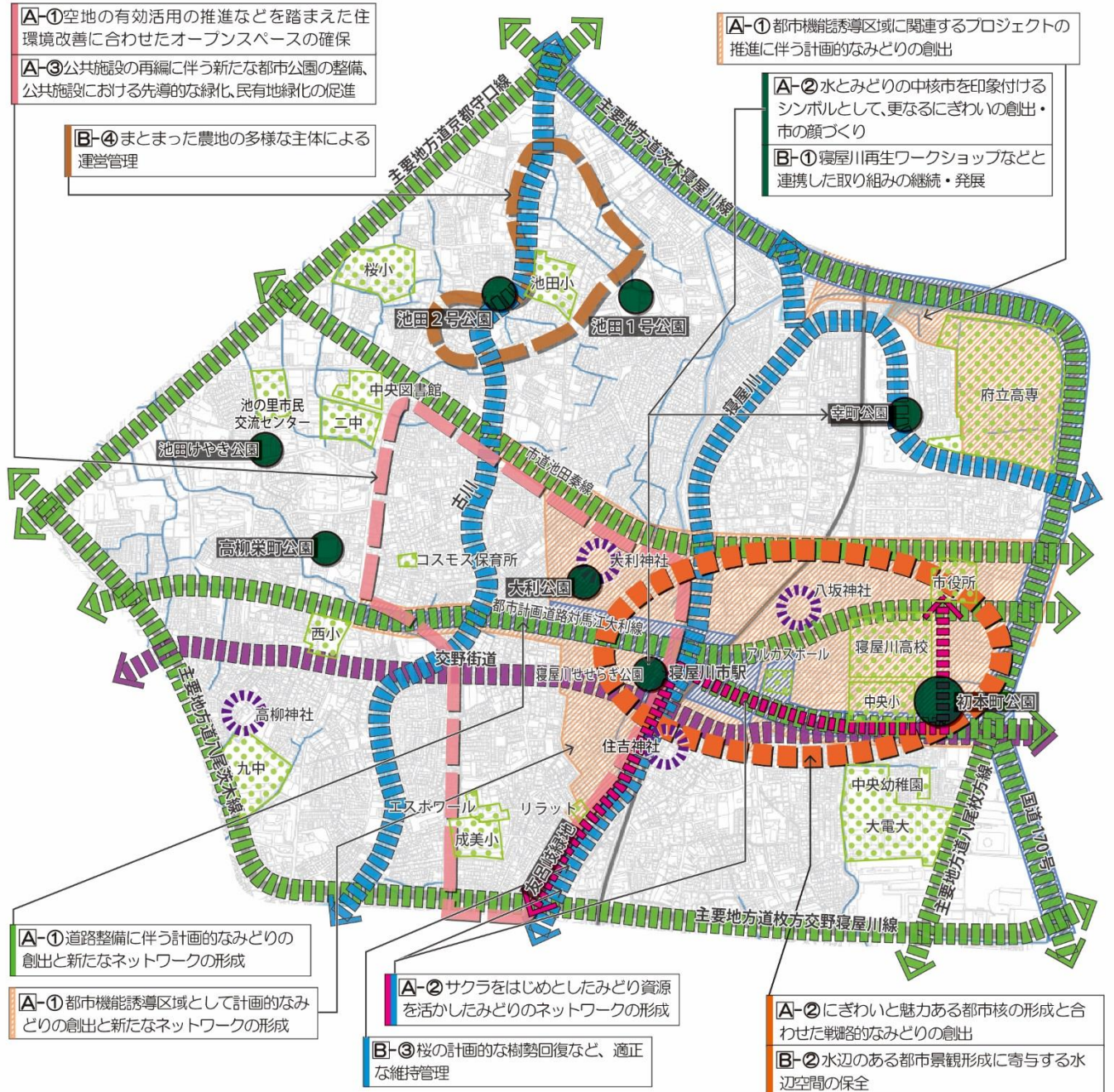
- A-① まちづくり事業等に伴う新たなみどりの確保について
- A-② 都市の核としてのにぎわいの創出・市の顔づくりについて
- A-③ みどりの不足する地域におけるみどりの充足について

B みどりの保全に関わる課題

- B-① 市民協働による保全活動等の展開について
- B-② 貴重種などの生物の生息・生育環境としての保全について
- B-③ 寝屋川市の特徴的な景観を形成するみどりの保全について
- B-④ 市街地開発等による減少が懸念されるみどりの保全について

<凡例(重点的に取り組むべき場所)>

- 拠点となるみどり
- ⊗ 駅周辺地域
- ⇄ 主要な河川・水辺
- 密集住宅地区
- ✳ 社寺林・保存樹
- ⇄ 主要な幹線道路
- 旧集落地
- 🏫 学校・公共施設
- ⇄ 歴史街道
- ▨ 景観重点地区
- ▨ 都市機能誘導区域




全域にかかわる課題

- B-② 河川、水路において、貴重な生物の生息・生育環境としての水辺環境の維持・保全
- B-④ 生産緑地地区の積極的な追加指定

<図9 重点的に取り組むべき課題(④中央部地域)>

5-1. 地域の現状【⑤東部地域】

1. 地域の概況							
①地域面積	624.8ha			現状(H29)	推計(H52)		
②市街化区域面積	433.3ha	⑤地域人口	32,446	26,131			
③市街化調整区域面積	191.5ha	⑥年齢別人口	0-9歳	2,727	1,465		
④町丁目 	宇谷町、高宮1丁目、高宮2丁目、高宮あさひ丘、高宮新町、高倉1丁目、高倉2丁目、小路南町、小路北町、上神田2丁目、寝屋1丁目、寝屋2丁目、寝屋新町、寝屋川公園、寝屋南1丁目、寝屋南2丁目、寝屋北町、新家2丁目、太秦元町、太秦高塚町、太秦桜が丘、太秦中町、太秦東が丘、太秦緑が丘、打上宮前町、打上元町、打上高塚町、打上新町、打上中町、打上南町、大谷町、梅が丘1丁目、梅が丘2丁目、明和1丁目、明和2丁目		10-19歳	2,953	1,583		
			20-29歳	2,885	2,068		
			30-39歳	3,717	2,564		
			40-49歳	5,001	3,137		
			50-59歳	3,876	2,995		
			60-69歳	4,925	4,183		
⑦地域内世帯数	14,247世帯		70-79歳	4,223	3,877		
⑧人口密度	51.9人/ha		80歳以上	2,139	4,260		
⑨人数/世帯	2.3人/世帯	※小数点以下四捨五入のため地域人口と年齢別人口の合計が異なる場合がある					
2. 社会的条件等							
①土地利用概況	<ul style="list-style-type: none"> 東寝屋川駅周辺には、商業・業務地が形成されている。 地域内の西部や南東部には、ゆとりある住宅地が広がっている。 寝屋、秦町、太秦元町、高宮、小路、明和、打上などには旧集落地が存在している。 地域内の北東部や南東部などには、まとまった農地や樹林地が広がっている。 第二京阪道路沿道では、土地区画整理事業等により商業・業務地が形成されている。 						
②上位関連計画における位置付け	<p>《都市計画マスタープラン》</p> <ul style="list-style-type: none"> 東寝屋川駅周辺は、「都市の拠点（都市核）」として位置付けられ、良好な景観やみどり豊かな歴史文化性を備え、地域にふさわしい自然環境が充実した本市の東核としての形成を推進することとしている。 打上川治水緑地や寝屋川公園は、「レクリエーション拠点」として位置づけられている。 <p>《立地適正化計画》</p> <ul style="list-style-type: none"> 東寝屋川駅周辺地区は、多くの都市機能が集積する都市核となっていることから、都市機能誘導区域（東寝屋川駅周辺地区【中心拠点】）に位置付けられ、病院、商業施設（中規模）、小中一貫校、教育文化施設（世代交流の場）、銀行等金融機関が誘導施設として挙げられている。 星田駅周辺地区は、将来都市機能誘導区域となりえるエリアとして位置づけられている。 <p>《景観計画》</p> <ul style="list-style-type: none"> 第二京阪道路以東のエリアを「生駒やまなみ緑地軸景観重点地区」、東寝屋川駅周辺を「東寝屋川駅周辺景観重点地区」に指定されている。 <p>《第二京阪道路沿道地区まちづくり基本構想》</p> <ul style="list-style-type: none"> 高宮地区、寝屋地区における計画的なまちづくりの方針が示されている。 <p>《小中一貫校設置実施計画・第四中学校区小中一貫校建設方針》</p> <ul style="list-style-type: none"> 全市的な小中一貫校への移行とともに、第四中学校区における施設一体型の小中一貫校の開校を目指すことが示されている。 <p>《都市計画道路整備方針》</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路東寝屋川駅前線は、東寝屋川駅につながる「整備重要路線」として位置づけられている。 						
③法的規制・誘導	<ul style="list-style-type: none"> 地区計画区域（高宮あさひ丘地区、太秦ハイツ地区、太秦第2ハイツ地区、高倉二丁目地区、打上地区、寝屋南地区、宇谷地区、梅が丘二丁目地区、打上新町地区、小路地区、東寝屋川駅前線沿道地区） みどりの風促進区域（第二京阪道路沿道） 						
④事業・プロジェクトの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 小路地区と打上高塚町地区では、土地区画整理事業を推進している。 東寝屋川駅西側では、都市計画道路東寝屋川駅前線整備を推進している。 都市計画公園である府営寝屋川公園の見直し検討を進めている。 						
3. みどりの現状							
(1) 施設緑地 ①都市計画公園緑地							
区分		箇所数	計画決定面積(ha)	開設面積(ha)	開設率(%)	一人当たり面積(m ² /人)	
都市計画公園緑地	住区基幹	街区公園	3	1.08	1.08	100.0	0.35
		近隣公園	6	13.40	3.91	29.2	1.21
		地区公園	0	—	—	—	—
	小計		9	14.48	4.99	34.5	1.55
	国営公園		0	—	—	—	—
	広域公園		1	54.40	32.30	59.4	9.96
	特殊公園		0	—	—	—	—
	都市緑地		0	—	—	—	—
	小計		10	68.88	37.29	54.1	11.51
	その他の都市公園		13	—	17.43	—	5.37
合計		23	—	54.72	—	16.88	
区分		公園リスト ※は未開設の都市計画公園					
街区公園		熱田公園、まつのき公園、みどりの丘さくら公園					
近隣公園		寝屋公園、太秦2号公園、小路明和公園、※打上公園、※秦公園、※太秦1号公園					
地区公園・広域公園・特殊公園・都市緑地		寝屋川公園					
その他の都市公園		みはらし公園、打上川治水緑地、梅が丘うぐいす公園、打上JOY公園、太秦高塚古墳公園、寝屋川第2トンネル北緑地、寝屋川第2トンネル南緑地、こみち公園、たち川くすのき公園、寝屋ふるさと公園、さくら回廊緑地、寝屋はなみずき緑地、打上公園（暫定開放分）					

(1) 施設緑地 ②公共施設緑地	
区分	リスト
その他の公園（ちびっこ広場等）	60箇所（うち市有地51、官公有地2、民有地7）
学校等（高等教育機関）	—
学校等（上記以外）	〈中学校〉第一中、第四中 〈小学校〉東小、宇谷小、明和小、梅が丘小、〈その他〉たんぼほ保育所 〈官公庁舎〉市民会館、市民活動センター、東コミュニティセンター、東図書館、学び館、埋蔵文化財資料館、太秦高齢者福祉センター、東高齢者福祉センター、東障害福祉センター、東シティ・ステーション、クリーンセンター 〈その他〉自転車の駅、すばる・北斗福祉作業所、大谷の里・あかつき園・ひばり園・第2ひばり園、
環境施設帯及び街路樹	第二京阪道路、国道170号、（主）枚方交野寝屋川線、（主）枚方富田林泉佐野線

(2) 地域制緑地			
区分	面積等	区分	面積等
ため池	新宮池、大谷池、山新池、蔵王池	生産緑地地区	20.04ha
市街化調整区域内農地	77.16ha	地域森林計画対象民有林	6.44ha
建築物緑化促進制度	-	地区計画（地区施設等）	0.29ha
史跡	9.00ha		

(3) その他のみどり資源	
区分	リスト
旧街道・旧集落	〈旧街道〉河内街道、東高野街道、交野街道 〈旧集落〉寝屋1・2丁目、秦町、太秦元町、高宮1・2丁目、小路北町、明和1・2丁目、打上新町、打上元町
宅地化農地	0.28ha
河川・水路	打上川、讃良川、たち川、宇谷川、岡部川、楠根川
社寺林・保存樹	加茂神社（ケヤキ1、ムクノキ1）
文化財等	加茂神社、熱田神社、寝屋神社、高宮神社、大杜御祖神社、国杜神社、打上神社、〔市指定〕太秦高塚古墳、〔府指定〕寝屋古墳、〔国指定〕高宮廃寺跡、〔国指定〕石宝殿古墳

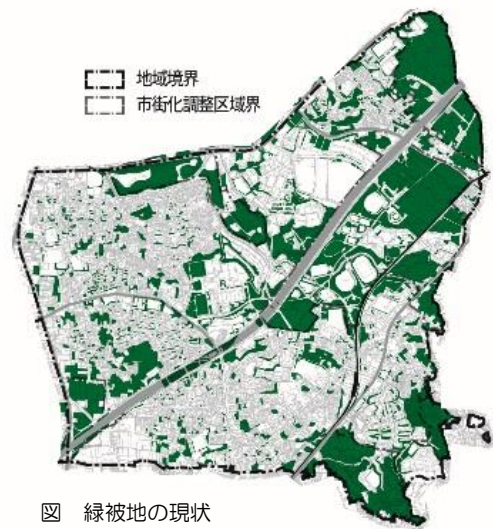


図 緑被地の現状

(4) 緑被率	
緑被地面積	190.6ha
地域面積に対する緑被率	30.5%
市域面積に対する緑被率	7.7%

4. 市民意識

みどりの量・みどりの変化	印象的なみどり	公園の利用状況
○みどりの量 多い・やや多い【23.4%】 少ない・やや少ない【22.0%】	○印象的（お気に入り）なみどり 1位：打上川治水緑地など大規模公園のみどり【81.5%】 2位：東部丘陵地などに残る自然のみどり【29.1%】 3位：田畑など農地のみどり【23.8%】	○よく行く公園 回答者数 ①打上川治水緑地 240 ②寝屋川公園 209 ③打上公園 10 ④太秦2号公園 5
○みどりの変化 増えた・やや増えた【29.6%】 減った・やや減った【24.3%】	○増やす・守るべきみどり 1位：打上川治水緑地など大規模公園のみどり【57.7%】 2位：まちなかの身近のみどり【33.5%】 2位：街路樹（桜並木など）などの道路のみどり【33.5%】	※地域内の公園を対象とした 全体回答数の上位4公園

5. 市民協働に関する施策および取り組みの実施状況等

取り組み	主な実施場所・内容等
健康花壇	・太秦第2ハイツ集会所内〔その他〕、寝屋長者屋敷跡公園〔自治会〕、高宮新町第1ちびっこ広場〔自治会〕
公園緑地等植栽サポーター制度	・太秦2号公園（老人会、子ども会）
公園愛護会	・熱田公園、寝屋公園、太秦2号公園、みはらし公園、太秦桜が丘第3など計30箇所
市民協働による公園整備等の取り組み	・太秦2号公園（市民ワークショップを踏まえた自然や野鳥との共生を目指した公園整備を実施）
水辺に関する取り組み	・寝屋川の保全再生の取り組み（「ねや川水辺クラブ」による「寝屋川市水辺整備基本構想」に基づいた清掃活動や生物調査など寝屋川再生の取り組みの展開） ・クリーンリバー寝屋川作戦の実施（大谷、寝屋）
サクラ☆プロジェクト	・市役所→寝屋川沿い⇒打上川治水緑地⇒打上川沿い（文化と歴史のみち）⇒寝屋川公園⇒みどりの丘さくら公園⇒都市計画道路東寝屋川駅前線⇒東寝屋川駅を結ぶルートを桜街道として指定 ・打上川治水緑地における桜並木のライトアップイベントの開催
アドブロード・リバー	＜ロード＞高宮（国道170号・㈱二本ゴルフ寝屋川店）、高宮新町1番（枚方富田林泉佐野線・快適な住環境を広める会）、高宮栄町（八尾枚方線・トヨタカローラ大阪㈱寝屋川東店） ＜リバー＞たち川（大谷自治会）

6. 生物の生息・生育環境の存在状況等

文献・調査等	場所等	確認されている生物種等（大阪府レッドリスト2014記載）
寝屋川市環境基本計画	・市内の水路 ・寝屋川	〔準絶滅危惧〕コウガイモ、〔絶滅危惧Ⅰ類〕ミズアオイ 〔絶滅危惧Ⅱ類〕ミナミメダカ

5-2. 地域の現状から見た特徴【⑤東部地域】

《地域人口等》

- ・ 地域面積 624.8ha（市街化区域面積 433.3ha、市街化調整区域面積 191.5ha）であり、平成 29 年の地域人口は 32,446 人（上位 5 番目）です。
- ・ 平成 52 年推計人口は 26,131 人で減少率は 19.5%（上位 6 番目）です。

《土地利用状況等》

- ・ 地域中央には平成 22 年に開通した第二京阪道路が縦断しています。
- ・ 第二京阪道路沿道では、打上地区（事業完了）や寝屋南地区（事業完了）、小路地区（平成 30 年度未完了予定）において土地区画整理事業による都市基盤が整備されています。
- ・ 高宮や太秦などの地域中央部では、ゆとりのある低層住宅地が形成されています。
- ・ 東寝屋川駅周辺では商業・業務地が形成されており、小路・明和などの旧集落地を含めて、地域の中でもみどりが少ない状況となっています。
- ・ 北東部や南東部などの市街化調整区域にまとまった農地や樹林地が広がっています。
- ・ 関連計画や事業・プロジェクトの状況としては、東寝屋川駅周辺地域において、都市計画マスタープランなどの位置づけを踏まえ、都市計画道路東寝屋川駅前線の整備による交通アクセス改善、沿道等への機能導入を図り、病院、商業施設、小中一貫校、教育文化施設、銀行等金融機関を誘導することとしています。
- ・ 都市計画道路東寝屋川駅前線の整備や打上高塚町地区土地区画整理事業を推進しています。

《みどりの現状》

- ・ 都市公園等の配置状況は、府営寝屋川公園や打上川治水緑地などの大規模な都市公園や、太秦 2 号公園、小路明和公園などの住区基幹公園が整備されており、都市公園面積は 54.72ha（上位 1 番目）・一人当たり面積 16.86 m²/人（上位 1 番目）ですが、都市計画公園緑地の整備率は 54.1%（上位 5 番目）と低い状況です。
- ・ 寝屋川公園などの大規模公園や市街化調整区域内農地等のまとまったみどりが存在し、緑被率は 30.5%（上位 1 番目）と非常に高い状況です。
- ・ 第二京阪道路沿道には広大な市街化調整区域農地や樹林地が存在しています。

《市民意識》

- ・ 打上川治水緑地などの大規模なみどりのほか、東部丘陵地の自然のみどりや田畑のみどりが印象的と捉えられており、多数の方々が打上川治水緑地や寝屋川公園を利用されています。
- ・ 「みどりの量」について「少ない・やや少ない」と回答された方は約 22.0%（上位 6 番目）と最も少ない反面、「減った・やや減った」は約 24.3%（上位 1 番目）と最も高い結果となっており、第二京阪道路の建設や寝屋南地区、小路地区の土地区画整理事業などにより山林や農地が大きく減少した結果が表れていると考えられます。

《協働に関する施策および取り組みの実施状況等》

- ・ 太秦 2 号公園の整備計画策定や水辺の維持管理とともに、寝屋川公園や打上川治水緑地における市民活動団体による清掃、植栽活動が行われているみどりが存在しています。
- ・ クリーンリバー寝屋川作戦による寝屋川の清掃活動が行われています。

5-3. みどりの課題【⑤東部地域】

(1) 個別の課題

みどりの保全に関する課題

- ・寝屋川公園や打上川治水緑地などの大規模な公園、寝屋川や讃良川などの貴重な生物の生息・生育環境となる水辺環境の維持・保全
- ・東部地域にまとまって存在する市街化調整区域内農地や樹林地など、地域制緑地の保全
- ・寝屋の旧集落地など、地域のシンボルとなる歴史・文化漂うまちなみの保全
- ・高宮廃寺遺跡や石宝殿古墳などの歴史文化財とともにあるみどりの保全
- ・太秦や高宮などのゆとりある住宅地の豊かなみどりの保全
- ・市街化区域内農地の計画的な保全

みどりの充実に関する課題

- ・東寝屋川駅周辺地域のまちづくりの視点を踏まえた、大阪府との連携による府営寝屋川公園の見直しやマネジメントに関する取り組み
- ・打上川治水緑地におけるパークマネジメント計画の検討
- ・太秦2号公園、小路明和公園などの住区基幹公園や、その他の都市公園、ちびっ子広場等における地域ニーズに応じた公園のマネジメントの推進
- ・公園施設の計画的な維持管理
- ・市民会館や供給処理施設等の公共公益施設における緑化事業等によるみどりづくりの推進
- ・小中学校、高等学校等の学校等における、グラウンド等を活用した緑化等の推進

みどりの創出に関する課題

- ・寝屋川公園などの事業未着手の都市計画公園の見直し
- ・旧集落地の生活道路整備などに伴うオープンスペースの確保や空き地を活用した新たなみどりの創出
- ・東寝屋川駅周辺における都市機能誘導とあわせた身近に感じることができるとみどりの創出
- ・都市計画道路東寝屋川駅前線の整備や、打上高塚町土地区画整理事業に伴うみどりの創出

みどりのネットワークに関する課題

- ・寝屋川や讃良川、打上川などの河川水路のつながりを踏まえた水辺環境のネットワークの充実
- ・みどりの風促進区域である第二京阪道路沿道におけるセミパブリック空間のみどりの充実
- ・東高野街道などの旧街道における歴史・文化資源とともに存在するみどりのネットワークの充実
- ・東寝屋川市駅周辺地域における「サクラ☆プロジェクト」の推進によるみどりのネットワークの形成
- ・都市計画道路東寝屋川駅前線の整備とあわせた街路樹や植樹帯によるネットワークの充実

協働のみどりに関する課題

- ・ねや川水辺クラブなどによる太秦2号公園の水辺の維持管理の継続と発展
- ・寝屋川などの河川における、市民参加による生物調査や清掃活動の継続と発展
- ・小中学校、高等学校、大学等の学校等と連携した、地域の拠点となるみどりの創出
- ・寝屋川市水辺整備基本構想に基づく取り組みの推進

(2) 重点的に取り組むべき課題

以上で把握した人口や年齢構成の推移、みどりの分布状況などの地区特性や課題、またはみどりに関するアンケート結果やこれまでの市民協働による取り組み実績を踏まえながら、戦略的なみどりの保全、創出、充実などを推進するための地区設定を検討するにあたり、本地域において特に重要と考えられる緑化の推進やみどりの保全の推進にかかわる課題について、以下の通り整理しました。

<A 緑化の推進にかかわる課題>

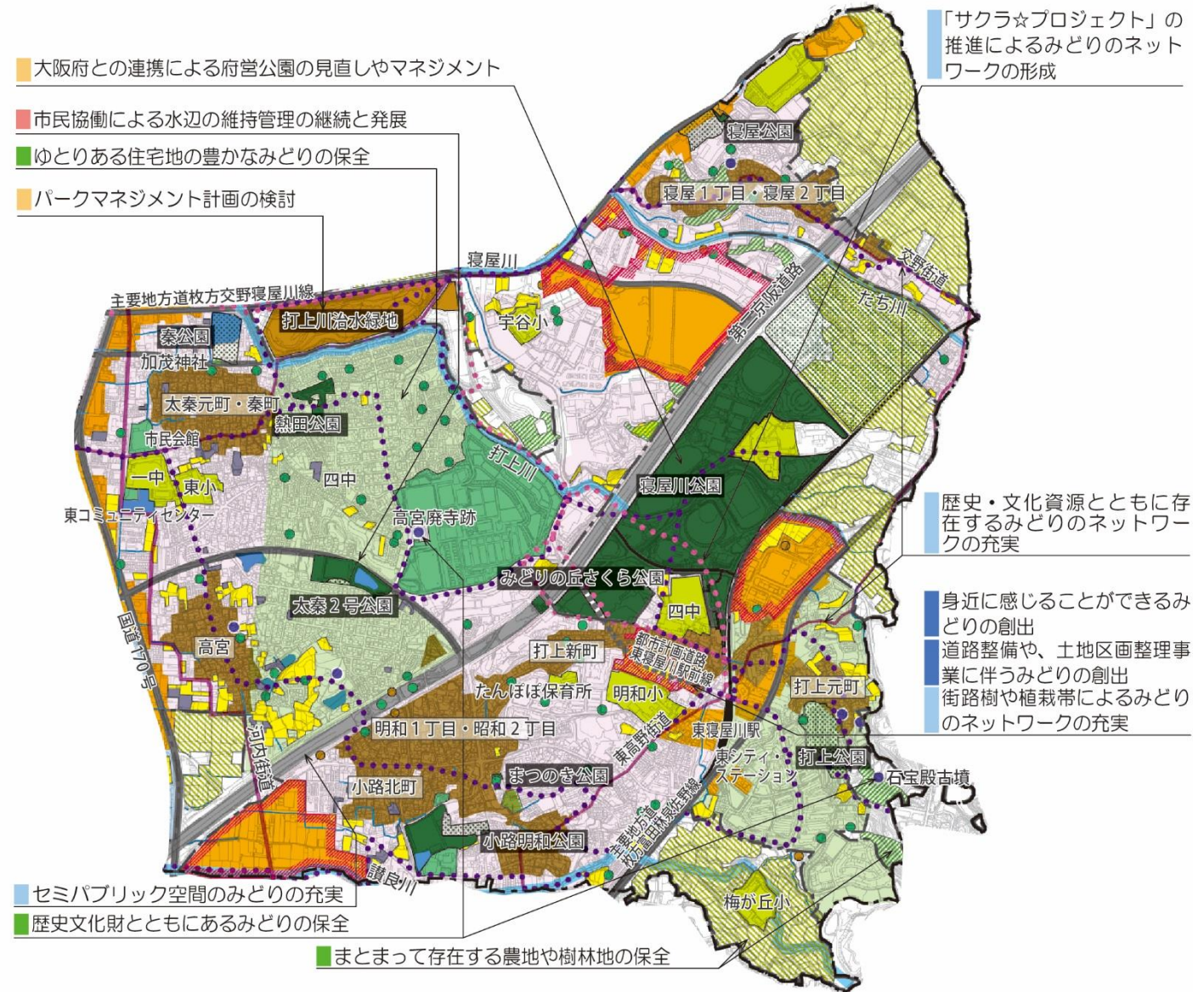
視点	課題
A-①まちづくり事業等に伴う新たなみどりの確保について	<ul style="list-style-type: none"> ・【東寝屋川駅周辺】では、【都市計画道路東寝屋川駅前線】の整備や【打上高塚町土地区画整理事業】の推進に伴い、計画的にみどりを創出するなど新たなみどりのネットワークの形成とオープンスペースの確保などが求められます。 ・【寝屋川公園の見直し検討区域】において、都市計画公園に求められる機能や代替性の検証とともに、将来的な土地利用誘導を見据えた取り組みが求められます。 ・【第四中学校区】（明和小学校、梅が丘小学校、第四中学校）における施設一体型の小中一貫校建設における公共施設の再編に伴う跡地活用の検討に伴う新たなみどりの創出が求められます。
A-②都市の核としてのにぎわいの創出・市の顔づくりについて	<ul style="list-style-type: none"> ・【東寝屋川駅周辺】では、都市機能誘導区域や景観重点地区などの位置づけを踏まえ、本市の『東核』としてふさわしい、自然環境や歴史文化を兼ね添えた個性豊かな都市核の形成と合わせて、戦略的なみどりの創出が求められます。 ・【打上川治水緑地や打上川沿い、寝屋川公園、東寝屋川駅を結ぶルート】上は、サクラ☆プロジェクトによるサクラの保全、植樹が行われるとともに、多くの人々が往来するエリアであることから、桜をはじめとしたみどり資源を活かしたみどりのネットワークの形成が求められます。 ・【打上川治水緑地】は、大規模イベントやサクラ☆プロジェクトにおけるライトアップイベントのメイン会場として利用されているとともに、地域内で最も多くの市民に利用されていることから、パークマネジメントを推進するなど、地域におけるみどりの活動拠点としての更なる充実が求められます。
A-③みどりの不足する地域におけるみどりの充足について	<ul style="list-style-type: none"> ・【明和一丁目などの旧集落地】における生活道路の整備などとあわせて、新たなみどりとオープンスペースを創出するなど、良好な都市景観の形成とゆとりあるまちなみづくりが求められます。

<B みどりの保全にかかわる課題>

視点	課題
B-① 市民協働による保全活動等の展開について	<ul style="list-style-type: none"> ・【寝屋川の水辺】の市民参加による生物調査や清掃活動や、【太秦2号公園の水辺】のねや川水辺クラブによる維持管理などの取り組みの継続や、打上川、讃良川などへの展開が求められます。
B-② 貴重種などの生物の生息・生育環境としての保全について	<ul style="list-style-type: none"> ・【東部に残る樹林地や農地】は市域内で最も規模が大きく、多様な生物の生息・生育環境となる貴重なみどりとして維持・保全を図ることが求められます。 ・貴重種が確認されている【寝屋川】などの水辺は、生物の生息・生育環境として水辺環境の維持・保全が求められます。 ・【打上川治水緑地】や【寝屋川公園】などの大規模公園における自然環境の保全が求められます。
B-③ 寝屋川市の特徴的な景観を形成するみどりの保全について	<ul style="list-style-type: none"> ・【寝屋などの旧集落地や神社】、【高宮廃寺跡や石宝殿古墳】など、歴史・文化資源とみどりが一体となった景観形成が求められます。
B-④ 市街地開発等による減少が懸念されるみどりの保全について	<ul style="list-style-type: none"> ・【市街化調整区域内農地】の無秩序な転用や、民間開発などに伴う宅地化農地等の減少が懸念されることから、農地の計画的な保全を目的とした多様な主体による運営管理や、【生産緑地地区】の積極的な追加指定などが求められます。 ・特に、市街化調整区域における大規模な農地を【農空間】として、旧集落地のまちなみや樹林地などとの一体性を考慮して保全することが求められます。

<凡例(みどりの課題)>

- みどりの保全に関する課題
- みどりの充実に関する課題
- みどりの創出に関する課題
- みどりのネットワークに関する課題
- 協働のみどりに関する課題



全域にかかわる課題

- 大規模な公園や河川などの生物の生息・生育環境の維持・保全
- 事業未着手の都市公園・都市緑地
- 旧集落地における地域のシンボルとなる歴史・文化漂うまちなみの保全
- 旧集落地におけるオープンスペースの確保や空き地を活用した新たなみどりの創出
- 市街化区域内農地の計画的な保全
- 河川や水路のつながりを踏まえた水辺環境のネットワークの充実
- 地域ニーズに応じた公園のマネジメントの推進
- 寝屋川などにおける市民参加による生物調査や清掃活動の継続と発展
- 公園施設の計画的な維持管理
- 学校等と連携した地域の拠点となるみどりの創出
- 公共施設における植栽事業等によるみどりづくりの推進
- 寝屋川市水辺整備基本構想に基づく取り組みの推進
- 学校等におけるグラウンド等を活用した緑化等の推進

<凡例(みどりの現状)>

- 河川
- 事業未着手の都市公園・都市緑地
- 生産緑地
- 宅地化農地
- 水路
- その他の都市公園
- 市街化調整区域内農地
- 密集住宅地区
- ため池
- その他の公園、ちびっこ広場
- 樹林地
- 旧集落地
- 歴史街道
- 文化財等
- 住宅地(全般)
- まちづくりに関する事業区域
- 主要な幹線道路等
- 学校等(大、高、小、中、幼、保)
- ゆとりある住宅地
- 都市公園・都市緑地
- 公共施設等
- 商業・業務地
- 文化と歴史のみち
- 桜街道

<図 10 みどりの現状と個別の課題(⑤東部地域)>

<凡例(重点的に取り組むべき課題の視点)>

A 緑化の推進にかかわる課題

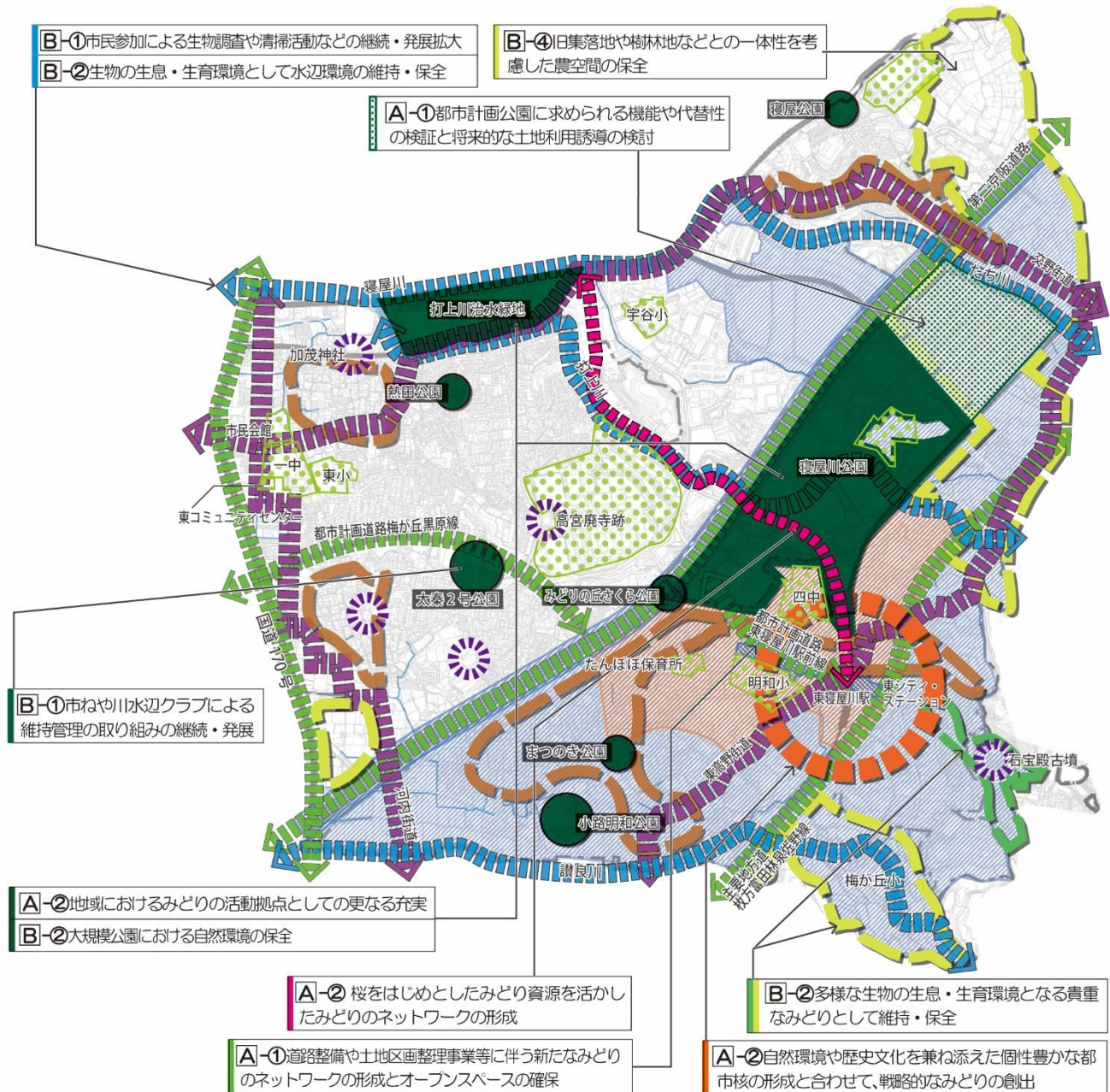
- A-① まちづくり事業等に伴う新たなみどりの確保について
- A-② 都市の核としてのにぎわいの創出・市の顔づくりについて
- A-③ みどりの不足する地域におけるみどりの充足について

B みどりの保全に関わる課題

- B-① 市民協働による保全活動等の展開について
- B-② 貴重種などの生物の生息・生育環境としての保全について
- B-③ 寝屋川市の特徴的な景観を形成するみどりの保全について
- B-④ 市街地開発等による減少が懸念されるみどりの保全について

<凡例(重点的に取り組むべき場所)>

- 骨格となるみどり
- 拠点となるみどり
- ☀ 駅周辺地域
- ✿ 社寺林・保存樹
- 🏫 学校・公共施設
- 🌊 主要な河川・水辺
- 🛣 主要な幹線道路
- 🏡 歴史街道
- 🌾 市街化調整区域内農地
- 🏘 旧集落地
- 🌳 樹林地
- 🌄 景観重点地区
- 🏙 都市機能誘導区域




全域にかかわる課題

- B-③ 旧集落地や神社、高宮廃寺跡や石宝殿古墳などの歴史・文化資源とみどりが一体となった景観形成
- A-① 第四中学校区における公共施設の再編に伴う跡地活用の検討に伴う新たなみどりの創出
- B-④ 農地の計画的な保全と目的とした多様な主体による運営管理や、生産緑地地区の積極的な追加指定
- A-③ 旧集落地における生活道路の整備などとあわせて新たなみどりとオープンスペースの創出

<図 11 重点的に取り組むべき課題 (⑤東部地域)>

6-1. 地域の現状【⑥南部地域】

1. 地域の概況							
①地域面積	458.2ha			現状(H29)	推計(H52)		
②市街化区域面積	422.1ha	⑤地域人口		47,295	34,885		
③市街化調整区域面積	36.1ha	⑥年齢別人口		0-9歳	3,519		
④町丁目 	下神田町、下木田町、河北西町、河北中町、河北東町、萱島桜園町、萱島信和町、萱島東1丁目、萱島東2丁目、萱島東3丁目、萱島南町、萱島本町、御幸西町、御幸東町、高柳5丁目、讃良西町、讃良東町、出雲町、上神田1丁目、新家1丁目、秦町、清水町、大成町、中神田町、中木田町、東神田町、南水苑町、楠根南町、楠根北町、堀溝1丁目、堀溝2丁目、堀溝3丁目、堀溝北町、木田元宮1丁目、木田元宮2丁目	10-19歳		4,556	2,169		
		20-29歳		4,900	2,918		
		30-39歳		5,237	3,450		
		40-49歳		7,921	4,284		
		50-59歳		5,448	3,866		
		60-69歳		6,453	5,854		
		70-79歳		6,236	5,256		
80歳以上		3,025	5,107				
⑦地域内世帯数	22,254世帯	※小数点以下四捨五入のため地域人口と年齢別人口の合計が異なる場合がある					
⑧人口密度	103.2人/ha						
⑨人数/世帯	2.1人/世帯						
2. 社会的条件等							
①土地利用概況	<ul style="list-style-type: none"> 萱島駅周辺には、商業・業務地が広がっている。 萱島駅東側には、密集住宅地（密集住宅地区整備事業における萱島東地区）が広がっている。 第二京阪道路と国道170号の調査部周辺には、大規模商業施設が立地している。 京阪本線と主要地方道八尾枚方線に挟まれたエリアには、住工共存地が形成されている。 新家や堀溝、河北周辺などには旧集落地が存在している。 第二京阪道路沿道や地域内の南部には、まとまりのある農地が広がっている。 						
②上位関連計画における位置付け	<p>《都市計画マスタープラン》</p> <ul style="list-style-type: none"> 萱島駅周辺は、「都市の拠点（都市核）」として位置付けられ、商店街を中心とした商業機能の充実や駅のクスノキをシンボルとした都市核の形成などが求められている。 国道170号と第二京阪道路の交差点周辺は、「広域交流拠点」として位置付けられ、交通利便性を活かした広域的な商業・業務機能の誘導が求められている。 南寝屋川公園および深北緑地は、「レクリエーション拠点」として位置付けられている。 <p>《立地適正化計画》</p> <ul style="list-style-type: none"> 萱島駅周辺は、多くの都市機能が集積している都市核となっていることから、都市機能誘導区域（萱島駅周辺地区【中心拠点】）に位置付けられ、商業地域（中規模）が誘導施設として挙げられている。 <p>《景観計画》</p> <ul style="list-style-type: none"> 寝屋川市景観計画において、第二京阪道路沿道は「第二京阪道路沿道景観重点地区」に、地域内の南部の一部は「生駒やまなみ緑地軸景観重点地区」に指定されている。 <p>《都市計画道路整備方針》</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路萱島讃良線は、萱島駅につながる「整備重要路線」として位置づけられている。 都市計画道路千里丘寝屋川線は、周辺都市をつなぐ「整備重要路線」として位置づけられている。 						
③法的規制・誘導	<ul style="list-style-type: none"> 地区計画区域（河北西町地区、讃良東町北地区、新家地区、萱島東地区） みどりの風促進区域（第二京阪道路沿道地区） 						
④事業・プロジェクトの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 萱島駅東側では、密集住宅地区の改善が進められている。 						
3. みどりの現状							
(1) 施設緑地 ①都市計画公園緑地							
都市計画公園緑地	住区基幹	街区公園	4	0.40	0.39	97.5	0.09
		近隣公園	4	7.40	0.54	7.3	0.11
		地区公園	1	4.50	4.50	100.0	1.01
		小計	9	12.30	5.43	44.1	1.21
	国営公園	0	—	—	—	—	
	広域公園	0	—	—	—	—	
	特殊公園	0	—	—	—	—	
	都市緑地	2	16.82	16.16	76.7	3.55	
	小計	11	29.12	21.59	74.1	4.76	
	その他の都市公園	8	—	1.30	—	0.27	
合計	19	—	22.89	—	5.03		
区分		公園リスト ※は未開設の都市計画公園					
街区公園		中木田公園、昭栄町公園、あじさい公園、さつき公園					
近隣公園		堀溝公園、上神田公園、萱島東公園、※河北公園					
地区公園・広域公園・特殊公園・都市緑地		南寝屋川公園、深北緑地					
その他の都市公園		神田中央公園、からくる親水公園、御幸公園、いちじく公園、萱島あやめ公園、河北西町第1公園、萱島さくら公園、萱島東公園（暫定開放分）					
(1) 施設緑地 ②公共施設緑地							
区分		リスト					
その他の公園（ちびっこ広場等）		58箇所（うち市有地41、官公有地12、民有地5）					
学校等（高等教育機関）		—					
学校等（上記以外）		〈中学校〉第五中、第七中、中木田中 〈小学校〉神田小、木田小、楠根小、南小、堀溝小、和光小					

	〈その他〉神田幼稚園、南幼稚園、あざみ保育所		
公共公益施設	〈官公庁舎〉西南コミュニティセンター、南コミュニティセンター、南コミュニティセンター分館、図書館西南分室・南分室、市民体育館、萱島シティ・ステーション、堀溝サービス窓口、緑風園 〈供給処理施設〉萱島ポンプ場、太平ポンプ場		
環境施設帯及び街路樹	第二京阪道路、国道 170 号、国道 163 号、(主)枚方交野寝屋川線、(主)八尾枚方線、(府)木屋門真線		
(2) 地域制緑地			
区分	面積等	区分	面積等
ため池	-	生産緑地地区	14.90ha
市街化調整区域内農地	4.79ha	地域森林計画対象民有林	-
建築物緑化促進制度	-	地区計画(地区施設等)	-
史跡	-		

(3) その他のみどり資源	
区分	リスト
旧集落	中木田町、上神田 1 丁目、中神田町、下神田町、新家 2 丁目、堀溝 1 丁目、堀溝 2 丁目、河北西町、河北中町
宅地化農地	3.34ha
河川・水路	寝屋川、讃良川、楠根川、岡部川、新川、清滝川、江蟬川、友呂岐水路、古川水路、寝屋川第 7・第 8・第 9 水路、黒原第 1 水路、神田第 1 水路
社寺林・保存樹	神田天満宮(クスノキ 4、イチヨウ 1)、鶯関神社(クスノキ 2、イチヨウ 1、ムクノキ 1)、河北大神社(エノキ 1)、萱島神社(クスノキ 1)
文化財等	神田天満宮、萱島神社、鶯関神社、河北大神社、[府指定]神田天満宮のくすのき(神田天満宮)

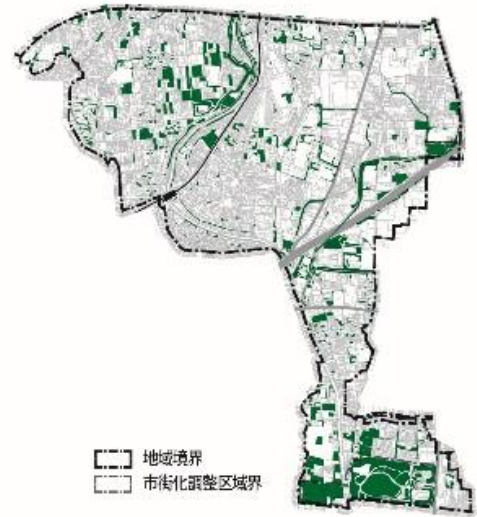


図 緑被地の現状

(4) 緑被率	
緑被地面積	54.9ha
地域面積に対する緑被率	12.0%
市域面積に対する緑被率	2.2%

4. 市民意識		
みどりの量・みどりの変化	印象的なみどり	公園の利用状況
○みどりの量 多い・やや多い【17.3%】 少ない・やや少ない【30.8%】	○印象的(お気に入り)なみどり 1位: 打上川治水緑地など大規模公園のみどり【49.2%】 2位: 友呂岐緑地などの緑道のみどり【32.4%】 3位: 淀川や寝屋川など河川の水辺やみどり【38.5%】	○よく行く公園 回答者数 ①深北緑地 17 ②南寝屋川公園 14 ③さつき公園 6 ④萱島あやめ公園 6 ⑤昭栄町公園 4 ⑥上神田公園 4 ※地域内の公園を対象とした 全体回答数の上位 6 公園
○みどりの変化 増えた・やや増えた【26.3%】 減った・やや減った【15.7%】	○まもるべきみどり 1位: 街路樹(桜並木など)などの道路のみどり【41.9%】 2位: まちなかの身近なみどり【40.8%】 3位: 打上川治水緑地など大規模公園のみどり【26.3%】	

5. 市民協働に関する施策および取り組みの実施状況等

取り組み	主な実施場所・内容等
健康花壇	楠根北第 1 公園[自治会]、堀溝 1 丁目第 1 ちびっこ広場[自治会]、下神田町 20 (寝屋川右岸線)[老人会]、下神田町第 2 ちびっこ広場[老人会]、東神田町寝屋川右岸線残地[自治会]、清水町第 1 公園・成美町公園自治会、[その他]、萱島信和町[自治会]
公園緑地等植栽サポーター制度	萱島東緑道(老人会)
公園愛護会	・昭栄町公園、萱島さつき公園、上神田公園、御幸公園、萱島東 2 丁目第 1 など計 28 箇所
市民協働による公園整備等の取り組み	・萱島さくら公園、いちじく公園(市民ワークショップを通じた密集市街地整備事業に伴う公園整備を実施)
水辺に関する取り組み	・寝屋川の保全再生の取り組み(「ねや川水辺クラブ」による「寝屋川市水辺整備基本構想」に基づいた清掃活動や生物調査など寝屋川再生の取り組みの展開) ・クリーンリバー寝屋川作戦の実施(清水町、萱島信和町、萱島駅南、からくる親水公園)
サクラ☆プロジェクト	・萱島駅⇒友呂岐緑地⇒寝屋川市駅を結ぶルートを桜街道として指定 ・萱島駅⇒友呂岐水路⇒からくる親水公園⇒萱島東緑道⇒下木田町内⇒讃良川沿い⇒南寝屋川公園⇒岡部川を結ぶルートを桜街道として指定
アドトロード・リバー	<ロード>みどり(枚方交野寝屋川線・清水町自治会) <リバー>讃良川(社会福祉法人香西会)、寝屋川(萱島本町自治会、南水苑町自治会)

6. 生物の生息・生育環境の存在状況等

文献・調査等	場所等	確認されている生物種等(大阪府レッドリスト 2014 記載)
寝屋川市環境基本計画	・市内の水路 ・寝屋川	[準絶滅危惧]コウガイモ、[絶滅危惧Ⅰ類]ミスアオイ [絶滅危惧Ⅱ類]ミナミメダカ

6-2. 地域の現況からみた特徴【⑥南部地域】

《地域人口等》

- ・ 地域面積 458.2ha（市街化区域面積 422.1ha、市街化調整区域面積 36.1ha）であり、平成 29 年の地域人口は 47,295 人（上位 2 番目）です。
- ・ 平成 52 年推計人口は 34,885 人で減少率は 26.2%（上位 3 番目）です。

《土地利用状況等》

- ・ 萱島駅周辺における密集住宅地区や、国道 170 号と主要地方道八尾枚方線に挟まれた住工共存地、または堀溝や神田などの旧集落地は、本地域の中でも特にみどりが少ない状況となっています。
- ・ 関連計画や事業・プロジェクトの状況としては、萱島駅周辺地域において、都市計画マスタープランなどの位置づけを踏まえ、都市計画道路萱島讃良線の段階的な整備による交通アクセス改善、密集住宅地区の解消、沿道等への機能導入を図り、商業施設を誘導することとしています。
- ・ 中木田町周辺には、京阪電気鉄道の寝屋川車庫が立地しています。
- ・ 国道 170 号と第二京阪道路の交差部周辺では大規模集客施設が立地しており、地域のシンボルとなっています。
- ・ 密集住宅地区を中心とした空き地の有効活用等の推進において、新たなみどりを創出する機会を有しています。

《みどりの現状》

- ・ 都市公園等の配置状況は、深北緑地や南寝屋川公園などの大規模な公園をはじめ、友呂岐緑地などが整備されており、都市公園面積は 22.89ha（上位 2 番目）・一人当たり面積 4.84 m²/人（上位 3 番目）、都市計画公園緑地の整備率は 74.1%（上位 3 番目）であり、その他都市公園やちびっこ広場も多く点在しています。
- ・ 深北緑地などのまとまったみどりが存在するものの、緑被率は約 12.0%（上位 5 番目）です。
- ・ 河北周辺の市街化調整区域や、上神田などにおいてはまとまりのある農地が存在しています。

《市民意識》

- ・ 大規模な公園や友呂岐緑地などが印象的なみどりとして認識されており、多数の方々が深北緑地や南寝屋川公園を利用されています。
- ・ 「みどりの量」について、「少ない・やや少ない」と回答された方は約 30.8%（上位 4 番目）で、「減った・やや減った」は約 15.7%（上位 3 番目）となっており、本地域に占める密集住宅地区の割合が大きいことや、第二京阪道路の建設や沿道における大規模集客施設の立地に伴い農地が大きく減少したことが影響すると考えられます。

《協働に関する施策および取り組みの実施状況等》

- ・ あやめ公園などの整備計画づくりや、寝屋川などの水辺空間における市民協働の取り組みの実績を有するみどりの資源が存在しています。
- ・ 深北緑地では、府営公園の管理運営の方向性を踏まえた上で、公園の諸課題を多様な主体との連携と協働で解決する取り組みを進めています。

6-3. みどりの課題【⑥南部地域】

(1) 個別の課題

みどりの保全に関する課題

- ・寝屋川や古川、友呂岐水路などの河川水路における生物の生息・生育環境としての水辺環境の保全
- ・深北緑地や南寝屋川公園などの大規模な公園における自然環境の保全
- ・神田や堀溝周辺の旧集落地における歴史・文化漂うまちなみの保全
- ・河北周辺の旧集落や市街化調整区域内農地が一体となった農空間の保全
- ・上神田周辺における一団の生産緑地地区など、市街化区域内農地の計画的な保全

みどりの充実に関する課題

- ・萱島駅周辺地域におけるシンボルとなるクスノキなどを活かしたみどりある都市景観の形成
- ・深北緑地や南寝屋川公園におけるパークマネジメント計画の検討
- ・住区基幹公園、その他都市公園、ちびっ子広場等における、地域ニーズに応じた公園のリニューアルや利活用の推進
- ・公園施設等の計画的な維持管理
- ・コミュニティセンター、市民体育館等の公共公益施設における緑化事業等の推進
- ・小中学校、高等学校、大学等の学校等における、グラウンド等を活用した緑化等の推進
- ・大規模敷地における屋上緑化や壁面緑化などによるみどりの充実

みどりの創出に関する課題

- ・河北公園などの事業未着手の都市計画公園の見直し
- ・拠点となる都市計画公園の整備
- ・都市計画道路千里丘寝屋川線や萱島讚良線の整備に伴う街路樹やポケットパークの創出
- ・密集住宅地区におけるオープンスペースの確保や空き地を活用した新たなみどりの創出
- ・萱島駅前における都市機能誘導とあわせた身近に感じることができるみどりの創出
- ・住工共存地における事業者と地域住民等の連携によるみどりの創出

みどりのネットワークに関する課題

- ・寝屋川や古川、友呂岐水路等の河川水路のつながりを踏まえた水辺環境のネットワークの充実
- ・みどりの風促進区域である第二京阪道路沿道におけるセミパブリック空間のみどりづくり
- ・萱島駅周辺や友呂岐緑地における「サクラ☆プロジェクト」に基づくみどりのネットワークの形成
- ・友呂岐緑地の桜並木の適正な保全

協働のみどりに関する課題

- ・市民ワークショップを通じたあやめ公園における整備計画の策定や、市民等との協働によるみどりづくりの継続・発展
- ・寝屋川における市民参加による生物調査や清掃活動などの更なる発展や地域への展開
- ・小中学校、高等学校、大学等と連携した地域の拠点となるみどりの創出
- ・寝屋川市水辺整備基本構想に基づく取り組みの推進

(2) 重点的に取り組むべき課題

以上で把握した人口や年齢構成の推移、みどりの分布状況などの地区特性や課題、またはみどりに関するアンケート結果やこれまでの市民協働による取り組み実績を踏まえながら、戦略的なみどりの保全、創出、充実などを推進するための地区設定を検討するにあたり、本地域において特に重要と考えられる緑化の推進やみどりの保全にかかわる課題について、以下の通り整理しました。

<A 緑化の推進にかかわる課題>

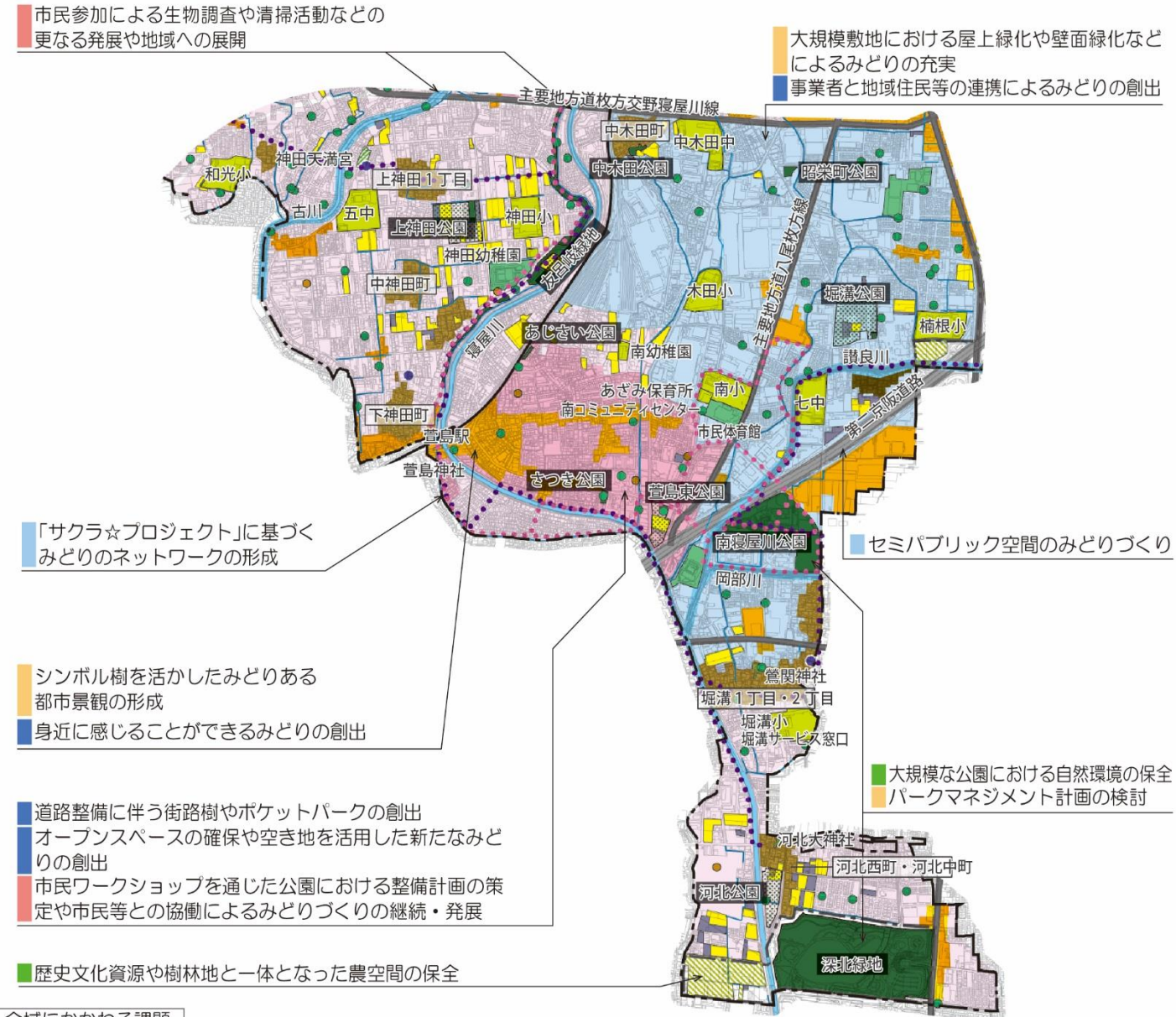
視点	課題
A-①まちづくり事業等に伴う新たなみどりの確保について	<ul style="list-style-type: none"> ・【萱島駅周辺地域】では、都市機能誘導区域や景観重点地区としての位置づけとともに、密集住宅地区を中心に空き地の有効活用を進めていることから、今後、これらのプロジェクトの推進に伴い、計画的にみどりを創出することにより、新たなみどりのネットワークの形成と住環境の改善に合わせたオープンスペースの確保などが求められます。 ・【都市計画道路千里丘寝屋川線】や【都市計画道路萱島讃良線】が整備される場合には、街路樹などによるネットワークの形成や、ポケットパークなどのみどりの空間形成が求められます。
A-②都市の核としてのにぎわいの創出・市の顔づくりについて	<ul style="list-style-type: none"> ・【萱島駅周辺】では、寝屋川や駅構内のクスの木などのシンボルを活かした景観形成や災害に強いまちを目指すとともに、生活圏の中心となる魅力と個性にあふれた本市の『南核』としての都市核形成とあわせて、戦略的なみどりの創出が求められます。 ・【萱島駅⇒友呂岐緑地⇒寝屋川市駅を結ぶルート】上は、サクラ☆プロジェクトによるサクラの保全、植樹が行われており、サクラをはじめとした資源を活かしたみどりのネットワークの形成が求められます。 ・【第二京阪道路と国道 170 号の交差点周辺】は、広域交流拠点として大規模集客施設が立地しており、【南寝屋川公園】が整備されていることから、本市のシンボルとして今後更なる魅力の向上を図るため、これらを拠点としたみどりづくりや質の向上が求められます。
A-③みどりの不足する地域におけるみどりの充足について	<ul style="list-style-type: none"> ・萱島駅東側の【密集住宅地区】や、国道 170 号と主要地方道八尾枚方線に挟まれた【住工共存地】、または堀溝や神田などの【旧集落地】では都市公園等が少なく、緑被状況を見ても特にみどりが少ない状況であるため、公共施設における先導的な緑化とともに、事業者等と連携した新たなみどりの創出など、民有地における緑化を促進する必要があります。

<B みどりの保全にかかわる課題>

視点	課題
B-①市民協働による保全活動等の展開について	<ul style="list-style-type: none"> •【寝屋川】などの水辺では、市民参加による生物調査や清掃活動など、これまでに実施されてきた市民等や大学等との連携による水辺環境の維持・保全に関する取り組みの更なる発展や地域への展開が求められます。 •【深北緑地】において、深野池の水辺を中心とした景観と生態系を保全育成し、遊水池としての環境の変化にも適応できるなど、水とみどりの豊かな美しい景観の創出を通じた都市の風格づくりへの貢献が求められます。
B-②貴重種などの生物の生息・生育環境としての保全について	<ul style="list-style-type: none"> •貴重種が確認されている【寝屋川】などの河川や水路は、生物の生息・生育環境としての水辺環境の維持・保全や、市民参加による生物調査を通じた環境学習の場としての水辺環境の保全・充実が求められます。 •【深北緑地】の深野池の水辺を中心に、多くの水生植物や草本類が自生しており、生物多様性に配慮した健全な植生の保全・創出と良好な水辺の景観づくりの推進が求められます。
B-③寝屋川市の特徴的な景観を形成するみどりの保全について	<ul style="list-style-type: none"> •【神田や堀溝周辺】などの旧集落地では、神田天満宮、水路などの水・みどり・歴史文化資源が一体となった景観の形成に向けた取り組みが求められます。
B-④市街地開発等による減少が懸念されるみどりの保全について	<ul style="list-style-type: none"> •【市街化調整区域内農地】の無秩序な転用や、民間開発などに伴う宅地化農地等の減少が懸念されることから、農地の計画的な保全を目的とした多様な主体による運営管理や、【生産緑地地区】の積極的な追加指定などが求められます。 •特に、市街化調整区域内における大規模な農地を【農空間】として、旧集落地のまちなみや社寺林などの歴史・文化資源、樹林地などとの一体性を考慮して保全することが求められます。

<凡例(みどりの課題)>

- みどりの保全に関する課題
- みどりの充実に関する課題
- みどりの創出に関する課題
- みどりのネットワークに関する課題
- 協働のみどりに関する課題



全域にかかわる課題

- 貴重な生物の生息・生育環境となる水辺環境の維持・保全
- 学校等におけるグラウンド等を活用した緑化等の推進
- 旧集落地における歴史・文化漂うまちなみの保全
- 事業未着手の都市計画公園の見直し
- 一団の生産緑地地区など、市街化区域内農地の計画的な保全
- 拠点となる都市計画公園の整備
- 地域ニーズに応じた公園のマネジメントの推進
- 河川や水路のつながりを踏まえた水辺環境のネットワークの充実
- 公園施設の計画的な維持管理
- 学校等と連携した地域の拠点となるみどりの創出
- 公共公益施設における植栽事業等によるみどりづくりの推進
- 寝屋川市水辺整備基本構想に基づく取り組みの推進

<凡例(みどりの現状)>

- 河川
- その他の都市公園
- 市街化調整区域内農地
- 住工共存地
- 水路
- その他の公園、ちびっこ広場
- 樹林地
- 旧集落地
- 歴史街道
- 文化財等
- 住宅地(全般)
- 文化と歴史のみち
- 主要な幹線道路等
- 学校等(大、高、小、中、幼、保)
- 商業・業務地
- 桜街道
- 都市公園・都市緑地
- 公共公益施設等
- 密集住宅地区
- 事業未着手の都市公園・都市緑地
- 生産緑地
- 宅地化農地

<図 12 みどりの現状と個別の課題(◎南部地域)>

<凡例(重点的に取り組むべき課題の視点)>
















A 緑化の推進にかかわる課題

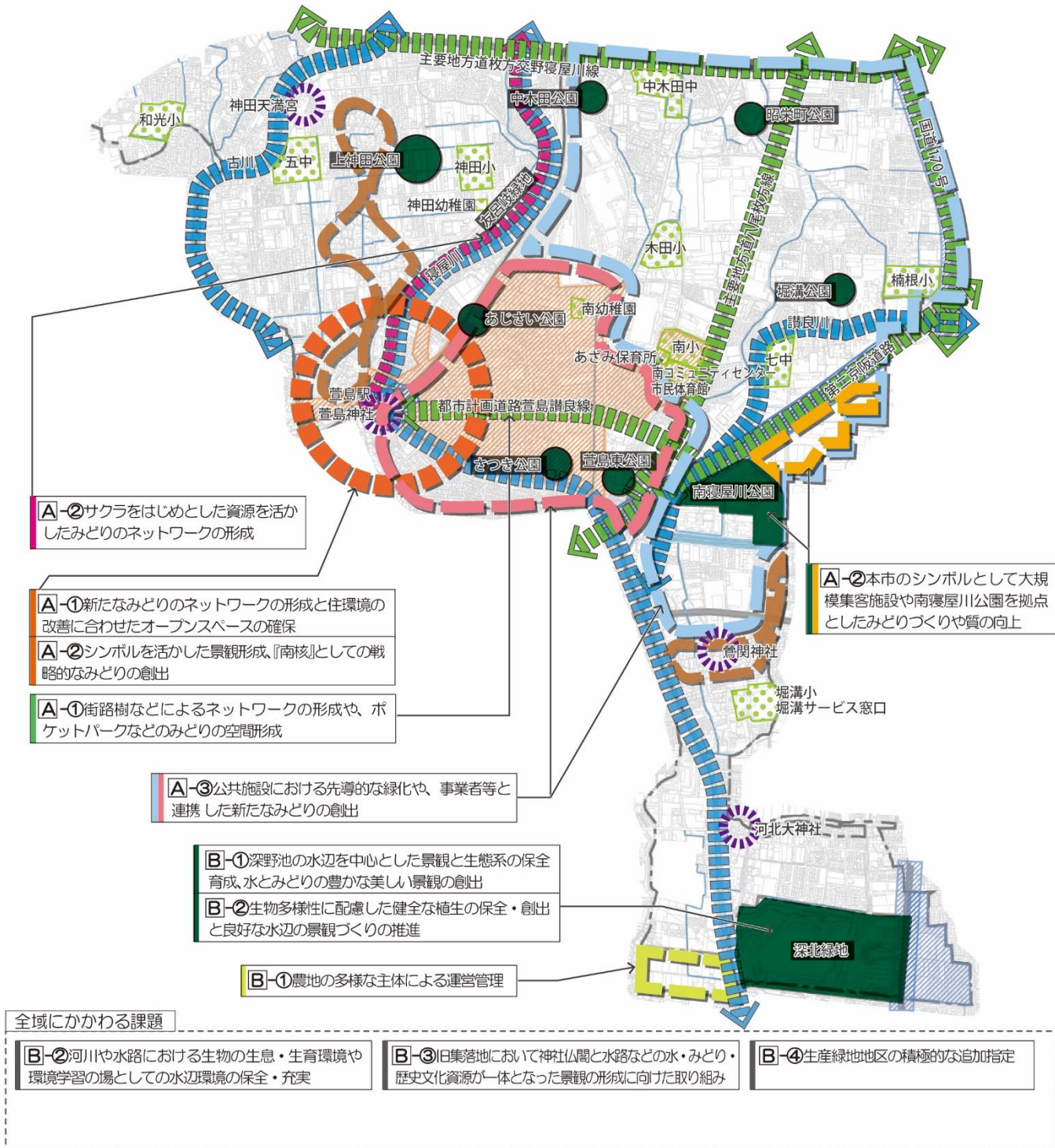
- A-① まちづくり事業等に伴う新たなみどりの確保について
- A-② 都市の核としてのにぎわいの創出・市の顔づくりについて
- A-③ みどりの不足する地域におけるみどりの充足について

B みどりの保全に関わる課題

- B-① 市民協働による保全活動等の展開について
- B-② 貴重種などの生物の生息・生育環境としての保全について
- B-③ 寝屋川市の特徴的な景観を形成するみどりの保全について
- B-④ 市街地開発等による減少が懸念されるみどりの保全について

<凡例(重点的に取り組むべき場所)>

 骨格となるみどり	 駅周辺地域	 主要な河川・水辺	 密集住宅地区	 旧集落地
 拠点となるみどり	 社寺林・保存樹	 主要な幹線道路	 住工共存地	 市街化調整区域内農地
 学校・公共施設	 歴史街道	 商業・業務地	 景観重点地区	 都市機能誘導区域



<図 13 重点的に取り組むべき課題 (⑥南部地域) >